

二日市小学校教室棟改築建築工事

図面番号	図面名称	図面番号	図面名称	図面番号	図面名称	図面番号	図面名称
L-1	図面リスト	A-31	2階平面詳細図(1)	A-74	建具表(2)	(構造図)	
(意匠図)		A-32	2階平面詳細図(2)	A-75	建具表(3)	S-1	構造特記仕様書(1)
特-1	特記仕様書(1)	A-33	2階平面詳細図(3)	A-76	家具案内図	S-2	構造特記仕様書(2)
特-2	特記仕様書(2)	A-34	3階平面詳細図(1)	A-77	家具詳細図(1)	S-3	構造特記仕様書(3)
特-3	特記仕様書(3)	A-35	3階平面詳細図(2)	A-78	家具詳細図(2)	S-4	RC配筋標準図(1)
特-4	特記仕様書(4)	A-36	3階平面詳細図(3)	A-79	家具詳細図(3)	S-5	RC配筋標準図(2)
特-5	特記仕様書(5)	A-37	展開図(1)	A-80	家具詳細図(4)	S-6	RC配筋標準図(3)
特-6	特記仕様書(6)	A-38	展開図(2)	A-81	家具詳細図(5)	S-7	RC配筋標準図(4)
特-7	特記仕様書(7)	A-39	展開図(3)	A-82	家具詳細図(6)	S-8	RC配筋標準図(5)
特-8	特記仕様書(8)	A-40	展開図(4)	A-83	家具詳細図(7)	S-9	RC配筋標準図(6)
特-9	特記仕様書(9)	A-41	展開図(5)	A-84	家具詳細図(8)	S-10	RC配筋標準図(7)
特-10	特記仕様書(10)	A-42	展開図(6)	A-85	サイン仕様書	S-11	RC配筋標準図(8)
		A-43	共通詳細図(1)	A-86	1階サイン案内図	S-12	RC配筋標準図(9)
A-1	配置図・付近見取図	A-44	共通詳細図(2)	A-87	2階サイン案内図	S-13	ボーリング柱状図(1)
A-2	現状配置図	A-45	共通詳細図(3)	A-88	3階サイン案内図	S-14	ボーリング柱状図(2)
A-3	敷地求積図・求積表	A-46	共通詳細図(4)	A-89	R階サイン案内図	S-15	ボーリング柱状図(3)
A-4	面積表・求積図	A-47	共通詳細図(5)	A-90	サイン詳細図(1)	S-16	杭伏図
A-5	仕上表(1)	A-48	部分詳細図(1)	A-91	サイン詳細図(2)	S-17	ビット・基礎伏図
A-6	仕上表(2)	A-49	部分詳細図(2)	A-92	サイン詳細図(3)	S-18	1階伏図
A-7	仕上表(3)	A-50	部分詳細図(3)	A-93	サイン詳細図(4)	S-19	2階伏図
A-8	1階全体平面図	A-51	部分詳細図(4)	A-94	エレベーター詳細図(1)(参考図)	S-20	3階伏図
A-9	2階全体平面図	A-52	部分詳細図(5)	A-95	エレベーター詳細図(2)(参考図)	S-21	R階伏図
A-10	3階全体平面図	A-53	部分詳細図(6)	A-96	エレベーター詳細図(3)(参考図)	S-22	軸組図(1)
A-11	4,R階全体平面図	A-54	部分詳細図(7)	A-97	エレベーター詳細図(4)(参考図)	S-23	軸組図(2)
A-12	R,PHR階全体平面図	A-55	部分詳細図(8)	A-98	1階法チェック図	S-24	軸組図(3)
A-13	ビット階平面図	A-56	部分詳細図(9)	A-99	2階法チェック図	S-25	軸組図(4)
A-14	1階平面図	A-57	部分詳細図(10)	A-100	3,R階法チェック図	S-26	基礎・基礎梁・基礎小梁リスト
A-15	2階平面図	A-58	部分詳細図(11)(参考図)	A-101	法チェック図(断面)	S-27	柱芯線図
A-16	3階平面図	A-59	部分詳細図(12)(参考図)	A-102	採光・換気計算表	S-28	柱・大梁リスト(1)
A-17	R,PHR階平面図	A-60	部分詳細図(13)(参考図)	A-103	仮設計画図	S-29	大梁リスト(2)
A-18	立面図	A-61	部分詳細図(14)(参考図)			S-30	大梁リスト(3)
A-19	断面図	A-62	部分詳細図(15)(参考図)			S-31	小梁・壁・スラブリスト
A-20	矩計図(1)	A-63	部分詳細図(16)(参考図)			S-32	鉄筋組込デッキ設計標準仕様書(参考図)
A-21	矩計図(2)	A-64	1階天井伏図			S-33	架構配筋図
A-22	矩計図(3)	A-65	2階天井伏図			S-34	梁貫通孔補強標準仕様書(1)(参考図)
A-23	A階段詳細図	A-66	3,R階天井伏図			S-35	梁貫通孔補強標準仕様書(2)(参考図)
A-24	B階段詳細図	A-67	1階建具案内図			S-36	1階スリーブ位置図
A-25	渡り廊下(1)詳細図(改修前)	A-68	2階建具案内図			S-37	2階スリーブ位置図
A-26	渡り廊下(1)詳細図(改修後)	A-69	3階建具案内図			S-38	3階スリーブ位置図
A-27	ブラットホーム廻り詳細図	A-70	R階建具案内図			S-39	R階スリーブ位置図
A-28	1階平面詳細図(1)	A-71	建具仕様書(1)				
A-29	1階平面詳細図(2)	A-72	建具仕様書(2)				
A-30	1階平面詳細図(3)	A-73	建具表(1)				

				株式会社 教育施設研究所		二日市小学校教室棟改築建築工事		DATE R8.1.
				ARCHITECT & OFFICE BRANCH 福岡	APPR. BY	CHKD. BY	DRAWN BY	DRAWING TITLE 図面リスト
				1級建築士 第226208号 山内 英樹				SCALE A1:- A3:-
								DRAWING NO. L-1

二日市小学校教室棟改築建築工事		
I 工事概要		
1. 工事場所	福岡県筑紫野市二日市西二丁目2-1	
2. 完成期限	2027年(令和10年)2月28日	
3. 建物概要		
建物名称・・・	新校舎	
工種・・・	新築	
構造・・・	RC造	
階数・・・	3	
建築基準法による	建築面積(m ²)	1758.13
	延べ面積(m ²)	4831.95
消防法施行令第1条第一の区分	(7)	
改修面積(m ²)・・・	-	
備考・・・		

4. 工事項目 (○印の付いたものが対象工事項目)			
工事種目	建物別及び屋外	工 事 種 別	
		新校舎	
○ 2 仮設工事		一式	
○ 3 土工		一式	
○ 4 地業工事		一式	
○ 5 鉄筋工事		一式	
○ 6 コンクリート工事		一式	
○ 7 鉄骨工事		一式	
○ 8 コンクリートパネル・押出成形枠組板工事		一式	
○ 9 防水工事		一式	
○ 10 石工事		一式	
○ 11 タイル工事		一式	
○ 12 木工		一式	
○ 13 屋根及びとい工事		一式	
○ 14 金属工事		一式	
○ 15 左官工事		一式	
○ 16 建具工事		一式	
○ 17 カーテンウォール工事		一式	
○ 18 塗装工事		一式	
○ 19 内装工事		一式	
○ 20 エント及びその他の工事		一式	
○ 21 排水工事		一式	
○ 22 舗装工事		一式	
○ 23 植栽及び屋上緑化工事		一式	
・			
・			

5. 指定部分 ・無 ・有 対象部分 ()
指定部分工期 令和 年 月 日 (曜日)

6. 概成工期 ・無 ・有 令和 年 月 日 (曜日) (1.2.1)

II 工事仕様

1. 共通仕様

(1) 福岡県筑紫野市の工事請負契約基準、現場説明書、図面 枚及び本特記仕様書 枚によるほか、○印の付いたものを適用する。

- 公共建築工事標準仕様書(建築工事編)(最新版)(以下「標準仕様書」という。)
- 公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)(最新版)(以下「改修標準仕様書」という。)
- 建築工事標準詳細図(最新版)(以下「標準詳細図」という。)
- 建築物解体工事共通仕様書(最新版)
- 文部科学省建築工事標準仕様書(特記基準)(建築工事編)(平成31年版)(以下「文科仕様書」という。)
- 文部科学省建築改修工事標準仕様書(特記基準)(建築工事編)(平成31年版)(以下「文科改修仕様書」という。)
- 工事写真撮影要領(最新版)
- ・

(2) 電気設備工事及び機械設備工事を本工事に含む場合は、電気設備工事及び機械設備工事は、それぞれの工事特記仕様書を適用する。なお、電気設備工事の特記仕様書は() 図、機械設備工事の特記仕様書は() 図による。

2. 特記仕様

(1) 本特記仕様書の表記

1) 項目は、○印の付いたものを適用する。

2) 特記事項は、●印の付いたものを適用する。

- 印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。
- 印と※印の付いた場合は、共に適用する。

3) 特記事項に記載の() 内表示番号は、標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。特記事項に記載の[] 内表示番号は、改修標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。特記事項に記載の() 内表示番号は、文科仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。特記事項に記載の[] 内表示番号は、文科改修仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。

4) ④印は、「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律」(平成12年法律第100号)に基づく「環境物品等の調達の推進に関する基本方針(平成31年2月8日変更閣議決定)」に定める特定調達物品における判断の基準(特定調達品目「公共工事」においては表1中の品目ごとの判断の基準)を満たすものを示す。

章	項目	特記事項
1 各章共通事項	○ 適用範囲	1. 共仕は、建築物に新築及び増築にかかわる建築工事に適用する。 2. 設計図書に規定する事項は、別の定めがある場合を除き、請負者の責任において履行すべきものとする。 3. 契約図書は、次のとおりとし、相互に補完するものとする。ただし、契約図書に相違がある場合の優先順位は、次の(1)から(6)の順番のとおりとし、これによりがたい場合は共仕(1.1.1)による。 (1) 工事請負契約書 (2) 質問回答書・追加変更指示書 (3) 現場説明書 (4) 特記仕様書 (5) 設計図 (6) 標準仕様書
	○ 官公庁その他への提出手続等	1. 建築基準法87条の2による昇降機設備の確認申請は、次による。 ○ 昇降機設備工事専門事業者が建築主の代理者として行い、申請及びこれにかかわる検査に要する費用は、請負者の負担とする。
	○ 工事に付帯する作業・材料	1. 本工事を完成させるために本工事に付帯する当必要な軽微な工事・作業・材料などは、設計図書に記載がない場合でも本工事に含む。 2. 本工事を完成させるために必要な次の工事及び費用は、請負代金額に含まれる。 (1) 施工・材料及び製品の検査・試験、見本などの作製、検査に要する費用。 (2) 敷地周辺における本工事の障害となるものの移設と復旧 (3) 工事期間中の官公庁その他関係機関の手続及びその費用 (4) 工専用機器、材料などの取入れに必要な搬入口及び通路の設置とそれに伴う補強、復旧・後片付け
	○ 監理者の承認検査・試験など	1. 機器・材料・施工・工事についての施工図等・見本などに対する監理者の承認は、次による。 (1) 監理者の承認は、請負者による品質管理・確認の適正さを確認するために行うものである。 (2) 監理者の承認は、請負者から提出された施工図等・見本に示される範囲の内容に対してなされる。 (3) 施工に用いられた、または工事的目的物に組み込まれた製品についての施工図等見本などに対する監理者の承認は、その外観や請負者から提出される情報に基づいてなされる。 2. 機器・材料・施工・工事に対する監理者の検査または試験は、次のよう。 (1) 監理者の検査または試験は、工事請負契約及び設計図書に基づいて、請負者等による品質管理・確認・自主検査の適正さを確認するために行うものである。 (2) 監理者の検査は、立会により、または請負者等の自主検査記録・工事写真その他の審査などの合理的な方法により行う。 (3) 施工に用いられた、または工事的目的物に組み込まれた製品に対する監理者の検査または試験は、その外観や請負者等から提出される情報・各種記録に基づいてなされる。 (4) 前(1)・(2)にかかわらず、機器・材料・施工・工事が工事請負契約・設計図書の適合しない場合は、その修繕などの責は請負者にある。 (5) 前(1)・(2)にかかわらず、施工に用いられた、または工事的目的物に組み込まれた製品の欠陥、若しくはこれに類する原因による品質上・性能上・安全上の不具合がある場合は、その修繕などの責は請負者にある。
	○ 施工図等	1. 施工図等の作業に先立ち、「提出書類作成要領」により総合図を作成し、監理者に提出する。 2. 総合図の作業に先立ち、基本的納まり、特殊な納まり、関係工事などとの調整を必要とする事項、その他監理者の指示する事項について、基準施工図を作成し、監理者の承認を受ける。 3. 監理者の指示する現寸図・型板などは、施工に先立つ適切な時期に作成し監理者の承認を受ける。 4. 総合図・施工図等・模型・モックアップ・見本などを提出に当たっては、あらかじめ、その内容を設計図書と十分照合し、それらが設計図書に適合していることの確認を、請負者の責任において確実に行う。
○ 工事の記録	1. 検査、試験または設計図書に定められた確認などを行った場合は、終了後速やかに記録を作成し、監理者に提出する。 2. 立会による監理者の検査、または施工・試験などへの監理者の立会を受けた場合は、終了後速やかに記録を作成して監理者に提出する。	
○ 電気保安技術者	1. 電気保安技術者 (1.3.3) ○ 適用する ・適用しない 2. 電気主任技術者 ○ 選任しない ・ 請負者が工事中に必要な時期に選任する。	

○ 製造者及び専門事業者の選定	1. 機器・材料製造者及び専門事業者は、設計図書に記載されたものの中から選定し、選定届を監理者に提出する。 2. 特別の理由により設計図書に記載された機器・材料製造者や専門事業者以外のもを選定する場合は、選定された機器・材料製造者や専門事業者の能力・経歴などを証する資料を監理者に提出し、監理者の承認を受ける。
○ 施工条件	この工事現場では、次の施工条件による。 (1.3.5) ○ 生徒、教職員等の安全には十分注意すること。 ○ 敷地内は禁煙とする。ただし、作業員詰所の喫煙指定場所に限り許可する。 ○ 激しい振動、騒音等を伴う場合は、監督職員と協議の上、作業日程を決めること。
・ 発生材の処理等	1. 引渡を要するもの *なし ・あり () (1.3.11) 2. 特別管理産業廃棄物 *なし ・あり () 3. 汚染土壌 *なし ・あり () ・ 請負者が土壌調査を行う () 4. 再利用を図る発生材 * 建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律による特定建設資材廃棄物 5. 再資源化を図る発生材 * 建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律による特定建設資材廃棄物 (1.4.1)
○ 環境への配慮	(1) 建築物内部に使用する材料等とは、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有すると共に、次の①から④を満たすものとする。 ① 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、壁紙、接着剤、保溫材、緩衝材、断熱材、塗料、仕上塗材は、アセトアルデヒド及びスチレンを発生しない又は発散が極めて少ない材料で、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分に応じた材料を使用する。 ② 接着剤及び塗料は、トルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ない材料を使用する。 ③ 接着剤は、可燃性(フタル酸ジエーテル及びフタル酸ジエーテルヘキシル等を含有しない難揮発性の可塑剤を除く)が添加されていない材料を使用する。 ④ ①の材料を使用して作られた家具、書架、突っ立、その他の什器類は、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発生しないが、発散が極めて少ない材料を使用する。 (2) 設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分において、「規制対象品」とは次の①又は②に該当する材料を指し、同区分「第三種」とは次の③又は④に該当する材料を指す。 ①建築基準法施行令第20条の7第1項に定める第一種、第二種及び第三種ホルムアルデヒド発散建築材料以外の材料 ②建築基準法施行令第20条の7第4項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料 ③建築基準法施行令第20条の7第1項に定める第三種ホルムアルデヒド発散建築材料 ④建築基準法施行令第20条の7第3項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料 (1.4.2)
○ 材料の品質等	(1) 本工事に使用する材料は、設計図書に定める品質及び性能の他、通常有すべき品質及び性能を有するものとする。 (2) 備考欄に商品名が記載された材料は、同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は監督職員の承認を受ける。 (3) 標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法については、材料製造所の指定する工法とする。 (4) 本工事に使用する材料のうち、(5)に指定する材料の製造業者は、次の①から⑥すべての事項を満たすものとし、この証明となる資料又は外部機関が発行する品質及び性能等が評価されたことを示す書面を提出して監督職員の承認を受ける。ただし、製造業者等が記載されているものは、証明となる資料等の提出を省略することができる。 ①品質及び性能に関する試験データを整備していること。 ②生産施設及び品質の管理を適切に行っていること。 ③安定的な供給が可能であること。 ④法令等で定める許可、認可、認定又は免許を取得していること。 ⑤製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。 ⑥販売、保守等の営業体制を整えていること。 (5) 製造業者等に関する資料の提出を求める材料 (1.4.4)
○ 材料の検査等	材料名 備考 工種別の施工計画書の品質計画で確定したもののJIS、JAS規格品以外のもの 既存との取合いにおいて、既存仕上げを破壊・削孔する場合は、事前にアスベストの有無を確認すること。 (1.5.2)
○ 技能士	通用工事種別 技能検定の種別 仮設工事 ○ とび 鉄筋工事 ○ 鉄筋施工 コンクリート工事 ○ 左官 ○ 型枠施工 ○ コンクリート圧送施工 鉄骨工事 ○ とび ○ 鉄工 ブロック・ALCパネル工事 ○ エーレスシーパネル施工 PCカーテンウォール工事 防水工事 ○ 防水施工 石工事 ○ 石材施工 タイル工事 ・ タイル張り 木工事 ○ 建築大工 屋根、とい工事 ○ 屋根葺金 金属工事 ○ 内装仕上げ施工(鋼製下地) 左官工事 ○ 左官 塗装工事 ○ サッシ施工 ○ ガラス施工 塗装工事 ○ 塗装 内装工事 ○ 内装仕上げ施工(床、天井仕上げ等) 舗装工事 ○ 造園 標準仕様書に定めがあるもの以外で、次に示す工事段階及び事項については、(1.5.7) 監督職員の立会いを受ける。 施工の立会いを行う工程 備考 ・ 基準位置及び基準地盤高さの設定時 ・ 平面載荷試験時 ・ 躯体コンクリートの試料採取時及び各種試験時 ・ 鉄筋の超音波探傷試験時
○ 施工の立会い	

○ 化学物質の濃度測定	(1) 室内空気中のホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、(1.5.9) スチレン等の濃度を測定し、測定結果を監督職員に報告する。 測定対象化学物質 指針値(両単位は換算は、25℃の場合による。) ホルムアルデヒド 100 μg/m ³ (0.08ppm)以下 トルエン 260 μg/m ³ (0.07ppm)以下 キシレン 200 μg/m ³ (0.05ppm)以下 エチルベンゼン 3800 μg/m ³ (0.88ppm)以下 スチレン 220 μg/m ³ (0.08ppm)以下																														
○ 完成時の提出図書	(2) 測定対象室及び測定箇所数は以下表による。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>棟名称</th> <th>階</th> <th>室名</th> <th>採取本数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">新校舎</td> <td rowspan="2">1</td> <td>職員室</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>特別支援学級(1)</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">2</td> <td>普通教室(1)</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>特別支援学級(5)</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>普通教室(11)</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>ラーニングコモンズ</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> (3) 測定方法は、○吸引方式(アクティブ法)・拡散方式(パッシブ法)により行う。 (4) 文部科学省の「学校環境衛生基準」に基づき、採取は室内の温度が高い時期に行い、吸引方式では30分間で2回以上、拡散方式では8時間以上行う。 (5) 測定結果が指針値を超えた場合は、発生源を特定し、換気等の措置を講じた後、再度測定し、基準値以下であることを確認してから引渡しを行う。 (1.7.1~3)	棟名称	階	室名	採取本数	新校舎	1	職員室	1	特別支援学級(1)	1	2	普通教室(1)	1	特別支援学級(5)	1	3	普通教室(11)	1			ラーニングコモンズ	1								
棟名称	階	室名	採取本数																												
新校舎	1	職員室	1																												
		特別支援学級(1)	1																												
	2	普通教室(1)	1																												
		特別支援学級(5)	1																												
	3	普通教室(11)	1																												
		ラーニングコモンズ	1																												
○ 完成時の提出図書	次の図書を監督職員に提出する。また、それらを本工事事目的物に同じ使用するための権利については、発注者に委譲する。 ○ 完成図(施工図、施工計画書を除く。) CADデータ(電子納品) 3部 A3版原図 1部 A1版原図 2部 A3複写図(銀本) 3部 A1複写図(銀本) 2部 ○ 施工計画書 Mファイル綴じ 1部 Mファイル綴じ 3部 ○ 保全に関する資料 Mファイル綴じ 3部 ○ 施工図(次に示すものを標準とし、提出部数等は監督職員と協議による。) 鉄筋配筋図(納まり図含む) 一式 コンクリート躯体図 一式 鉄骨製図 一式 カーテンウォール製図 一式 機器製図 一式 制御システム図 一式 試験成績書 一式 機器・配管固定の施工図 一式 ○ 工事写真(「工事写真撮影要領」による。) 原本(電子媒体) 1部 アルバム(紙又は電子媒体) 1部 ○ 完成写真 工事完成時に次の写真を撮影し、監督職員に提出する。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>撮影部位及び箇所数</th> <th>形式・サイズ</th> <th>提出セット数</th> <th>画素数及び画質等</th> <th>撮影者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">外観正面1箇所</td> <td>カラー印刷紙キャビネット</td> <td></td> <td></td> <td rowspan="4">建築完成写真の撮影実績がある者で、監督員が承認する撮影業者</td> </tr> <tr> <td>カラー印刷紙キャビネット A4アルバム綴じ ※</td> <td>3</td> <td rowspan="4">4500×3000ピクセル以上で画像補正を行ったもの</td> </tr> <tr> <td>電子データ(JPEGフルカラー・圧縮率1/4程度)</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>カラー木製パネル半切(324×400mm)</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">上記と異なる外部:40箇所 内部:50箇所</td> <td>カラー印刷紙キャビネット</td> <td></td> <td></td> <td rowspan="2">任意</td> </tr> <tr> <td>カラー印刷紙キャビネット A4アルバム綴じ ※</td> <td>3</td> <td></td> </tr> <tr> <td>外部: 箇所 内部: 箇所</td> <td>カラー印刷紙キャビネット A4アルバム綴じ</td> <td></td> <td>1280×960ピクセル以上かつ撮影したデジタルカメラの設定のうち最高の画質</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> 注: ※のアルバムは併せて作成する。 電子納品は次の規定に従うものとする。 1) 貸与する設計図のCADデータは以下による。 著作署名: 福岡県 筑紫野市 ファイル形式: JWB及びPDF 貸与条件: 貸与するCADデータを本工事に於ける施工図又は完成図の作成のため以外に使用しないこと。 2) 完成写真の撮影に関する著作者の権利等については次のi)及びii)によることとし、受注者は撮影者等との契約に当たってもそれらの承諾を条件とする。 i) 提出された写真は、国が行う事務及び国が認めた用途に関して、無償で利用することができるものとする。この際、著作署名を表示しないこと及びその利用に必要な範囲で改変を行うことができるものとする。 ii) 受注者及び撮影者等は、撮影時に取得した全ての写真(提出していないものを含む。)及びその改変物、複製物を公表、閲覧、譲渡その他一切の方法により第三者に使用させてはならない。ただし、あらかじめ発注者の承諾を受けた場合は、この限りではない。 3) 電子納品の対象は上記によるほか、監督職員と受注者で協議を行う。 4) 電子成果品は、提出前に電子成果品作成支援・検査システムによるチェックを行い、エラーがないことを確認した後、ウイルス対策を実施したうえで監督職員に提出する。 5) 提出方法及びファイル形式は以下による。 電子媒体: CD-R又はDVD-R CADデータ: JWB、DXF及びPDF 上記の他、監督職員が認めた形式	撮影部位及び箇所数	形式・サイズ	提出セット数	画素数及び画質等	撮影者	外観正面1箇所	カラー印刷紙キャビネット			建築完成写真の撮影実績がある者で、監督員が承認する撮影業者	カラー印刷紙キャビネット A4アルバム綴じ ※	3	4500×3000ピクセル以上で画像補正を行ったもの	電子データ(JPEGフルカラー・圧縮率1/4程度)	3	カラー木製パネル半切(324×400mm)		上記と異なる外部:40箇所 内部:50箇所	カラー印刷紙キャビネット			任意	カラー印刷紙キャビネット A4アルバム綴じ ※	3		外部: 箇所 内部: 箇所	カラー印刷紙キャビネット A4アルバム綴じ		1280×960ピクセル以上かつ撮影したデジタルカメラの設定のうち最高の画質	
撮影部位及び箇所数	形式・サイズ	提出セット数	画素数及び画質等	撮影者																											
外観正面1箇所	カラー印刷紙キャビネット			建築完成写真の撮影実績がある者で、監督員が承認する撮影業者																											
	カラー印刷紙キャビネット A4アルバム綴じ ※	3	4500×3000ピクセル以上で画像補正を行ったもの																												
	電子データ(JPEGフルカラー・圧縮率1/4程度)	3																													
	カラー木製パネル半切(324×400mm)																														
上記と異なる外部:40箇所 内部:50箇所	カラー印刷紙キャビネット				任意																										
	カラー印刷紙キャビネット A4アルバム綴じ ※	3																													
外部: 箇所 内部: 箇所	カラー印刷紙キャビネット A4アルバム綴じ		1280×960ピクセル以上かつ撮影したデジタルカメラの設定のうち最高の画質																												
○ 他工事又は他工種との取合い	工事区分表による。これにより難い場合は監督職員と協議する。																														

2 仮設工事	<p>○ 足場その他 (2.2.4)</p> <p>「手すり先行工法に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同ガイドラインの別紙1「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における2の(2)手すり設置方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行う。</p>																																																																																										
3 土工	<p>○ 埋戻し及び盛土 (3.2.3)</p> <p>材料及び工法</p> <p>・材料 () 工法 ()</p> <p>※表3.2.1による</p> <p>種類</p> <p>・A 種 適用場所 ()</p> <p>○ B 種 適用場所 (埋戻し)</p> <p>・C 種 適用場所 () 土質 () 受渡場所 ()</p> <p>・D 種 適用場所 ()</p> <p>品質細粒分 (75μm以下) の含有率 (重量百分率) の上限を50%未満とする。</p> <p>○ 建設発生土の処理 (3.2.5)</p> <p>※ (1.3.11) による ・構内指示の場所に堆積 ・構内指示の場所に敷き均し</p> <p>○ 山留めの撤去 (3.3.3)</p> <p>鋼矢板等の抜き後の処理 ・ ※直ちに砂等で充填する</p> <p>山留めの位置 ・ 行う (位置範囲 ※図示)</p>																																																																																										
4 地業工事	<p>特記仕様書 (構造関係) による</p>																																																																																										
5 鉄筋工事	<p>特記仕様書 (構造関係) による</p>																																																																																										
6 鉄筋コンクリート工事	<p>特記仕様書 (構造関係) による</p>																																																																																										
7 鉄骨工事	<p>特記仕様書 (構造関係) による</p>																																																																																										
8 コンクリートブロック・ALCパネル・押出成形セメント板工事	<p>○ 補強コンクリートブロック造 (8.2.2, 3, 5)</p> <p>ブロックの種類等 (8.2.2)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">断面形状及び圧縮強さによる区分</th> <th rowspan="2">正味厚さ (mm)</th> <th colspan="2">寸法 (mm)</th> <th rowspan="2">化粧の有無</th> <th rowspan="2">適用箇所</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>長さ</th> <th>高さ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・無 ・有</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・無 ・有</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>モルタルの割合 (容積比) (8.2.3)</p> <p>・セメント () : 砂 ()</p> <p>各部の配筋 (8.2.5)</p> <p>※図示による ()</p> <p>○ コンクリートブロック積造及び壁 (8.3.2, 3, 4)</p> <p>ブロックの種類等 (8.3.2)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">断面形状及び圧縮強さによる区分</th> <th rowspan="2">正味厚さ (mm)</th> <th colspan="2">寸法 (mm)</th> <th rowspan="2">化粧の有無 (表8.3.1)以外の適用箇所</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>長さ</th> <th>高さ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・空洞ブロック C(16)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・無 ・有</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・型枠状ブロック 20</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・無 ・有</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>壁の厚さ (8.3.2)</p> <p>壁鉄筋の継手、定着及び末端部の折り曲げ形状 (8.3.4)</p> <p>※図示による ()</p> <p>各部の配筋 (8.3.4)</p> <p>※図示による ()</p> <p>○ ALCパネル (8.4.2~5)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">パネルの区分</th> <th rowspan="2">単位荷重 (N/m²)</th> <th rowspan="2">厚さ (mm)</th> <th rowspan="2">長さ (mm)</th> <th rowspan="2">幅 (mm)</th> <th rowspan="2">耐火性能</th> <th rowspan="2">表面加工</th> <th colspan="2">構造の種類</th> </tr> <tr> <th>・A種 ・B種</th> <th>・C種 ・D種</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・外壁パネル</td> <td></td> <td>・100</td> <td></td> <td></td> <td>・有 (1) 時間</td> <td>・平 ・意匠</td> <td>・A種 ・B種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・間仕切壁パネル</td> <td></td> <td>・100</td> <td></td> <td></td> <td>・有 (1) 時間</td> <td>・平 ・意匠</td> <td>・C種 ・D種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・屋根パネル</td> <td></td> <td>・100</td> <td></td> <td></td> <td>・有 (0.5) 時間</td> <td>・平</td> <td>・E種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・床パネル</td> <td></td> <td>・100</td> <td></td> <td></td> <td>・有 () 時間</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>パネルの相互の接合部に挿入する耐火目地材</p> <p>外壁、屋根パネルの工法</p> <p>建築基準法に基づき定まる風圧力の (・1 ・1.15 ・1.3) 倍の風圧力に対応した工法</p> <p>・パネル幅の最小限度を300mm未満とする場合</p> <p>・パネル短辺小口相互の接合部、外壁、間仕切壁パネルの出隅及び入隅のパネル接合部並びにパネルと他部材との取り合い部の目地幅 (mm) ・ ※10~20</p> <p>・外壁、間仕切壁パネルの伸縮調整目地への耐火目地材の充填 ・適用する ・適用しない</p>	断面形状及び圧縮強さによる区分	正味厚さ (mm)	寸法 (mm)		化粧の有無	適用箇所	備考	長さ	高さ	・				・無 ・有			・				・無 ・有			断面形状及び圧縮強さによる区分	正味厚さ (mm)	寸法 (mm)		化粧の有無 (表8.3.1)以外の適用箇所	備考	長さ	高さ	・空洞ブロック C(16)				・無 ・有		・型枠状ブロック 20				・無 ・有		パネルの区分	単位荷重 (N/m ²)	厚さ (mm)	長さ (mm)	幅 (mm)	耐火性能	表面加工	構造の種類		・A種 ・B種	・C種 ・D種	・外壁パネル		・100			・有 (1) 時間	・平 ・意匠	・A種 ・B種		・間仕切壁パネル		・100			・有 (1) 時間	・平 ・意匠	・C種 ・D種		・屋根パネル		・100			・有 (0.5) 時間	・平	・E種		・床パネル		・100			・有 () 時間			
断面形状及び圧縮強さによる区分	正味厚さ (mm)			寸法 (mm)					化粧の有無	適用箇所	備考																																																																																
		長さ	高さ																																																																																								
・				・無 ・有																																																																																							
・				・無 ・有																																																																																							
断面形状及び圧縮強さによる区分	正味厚さ (mm)	寸法 (mm)		化粧の有無 (表8.3.1)以外の適用箇所	備考																																																																																						
		長さ	高さ																																																																																								
・空洞ブロック C(16)				・無 ・有																																																																																							
・型枠状ブロック 20				・無 ・有																																																																																							
パネルの区分	単位荷重 (N/m ²)	厚さ (mm)	長さ (mm)	幅 (mm)	耐火性能	表面加工	構造の種類																																																																																				
							・A種 ・B種	・C種 ・D種																																																																																			
・外壁パネル		・100			・有 (1) 時間	・平 ・意匠	・A種 ・B種																																																																																				
・間仕切壁パネル		・100			・有 (1) 時間	・平 ・意匠	・C種 ・D種																																																																																				
・屋根パネル		・100			・有 (0.5) 時間	・平	・E種																																																																																				
・床パネル		・100			・有 () 時間																																																																																						

<p>・押出成形セメント板 (ECP)</p>	<p>(8.5.2~5)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>パネルの種類</th> <th>形状</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>幅 (mm)</th> <th>工法の種類</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">・外壁パネル</td> <td>・F (フランク種)</td> <td>・50 ・60</td> <td></td> <td>・A種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・D (デザイン種)</td> <td>・50 ・60</td> <td>600</td> <td>・B種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・T (タイプ種)</td> <td>60</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">・間仕切壁パネル</td> <td>・F (フランク種)</td> <td>・50 ・60</td> <td></td> <td>・B種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・D (デザイン種)</td> <td>・50 ・60</td> <td>600</td> <td>・C種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・T (タイプ種)</td> <td>60</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>外壁パネルの工法</p> <p>建築基準法に基づき定まる風圧力の (・1 ・1.15 ・1.3) 倍の風圧力に対応した工法</p> <p>パネル幅の最小限度を300mm未満とする場合</p> <p>パネル相互の目地幅 (mm) ・長辺 ・短辺</p> <p>出隅及び入隅のパネル接合部の目地幅 (mm) ※15程度</p> <p>耐火構造以外の目地及び隙間の処理 ・ ※パネルの製造所の仕様</p> <p>やむを得ず欠き込み等を行う場合は、下表の寸法を限度とする。ただし、欠損部分を考慮した強度を確認のうえ、施工計画書を提出する。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>パネルに開口を設ける場合</th> <th>開口の大きさ</th> <th>切断後のパネルの残り部分の幅</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>短辺</td> <td>・ 図示</td> <td>・ 図示</td> </tr> <tr> <td>長辺</td> <td>・ 図示</td> <td>・ 図示</td> </tr> <tr> <td>パネルを切り欠く場合</td> <td>短辺</td> <td>・ 図示</td> </tr> <tr> <td></td> <td>長辺</td> <td>・ 図示</td> </tr> </tbody> </table>	パネルの種類	形状	厚さ (mm)	幅 (mm)	工法の種類	備考	・外壁パネル	・F (フランク種)	・50 ・60		・A種		・D (デザイン種)	・50 ・60	600	・B種		・T (タイプ種)	60				・間仕切壁パネル	・F (フランク種)	・50 ・60		・B種		・D (デザイン種)	・50 ・60	600	・C種		・T (タイプ種)	60				パネルに開口を設ける場合	開口の大きさ	切断後のパネルの残り部分の幅	短辺	・ 図示	・ 図示	長辺	・ 図示	・ 図示	パネルを切り欠く場合	短辺	・ 図示		長辺	・ 図示																																																						
パネルの種類	形状	厚さ (mm)	幅 (mm)	工法の種類	備考																																																																																																							
・外壁パネル	・F (フランク種)	・50 ・60		・A種																																																																																																								
	・D (デザイン種)	・50 ・60	600	・B種																																																																																																								
	・T (タイプ種)	60																																																																																																										
・間仕切壁パネル	・F (フランク種)	・50 ・60		・B種																																																																																																								
	・D (デザイン種)	・50 ・60	600	・C種																																																																																																								
	・T (タイプ種)	60																																																																																																										
パネルに開口を設ける場合	開口の大きさ	切断後のパネルの残り部分の幅																																																																																																										
短辺	・ 図示	・ 図示																																																																																																										
長辺	・ 図示	・ 図示																																																																																																										
パネルを切り欠く場合	短辺	・ 図示																																																																																																										
	長辺	・ 図示																																																																																																										
○ アスファルト防水 (9.2.2~5) (表 9.2.3~9)	<p>屋根保護防水</p> <p>防水層の種類</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> <th>断熱材</th> <th>絶縁用シート</th> <th>立上り部の保護方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・A-1</td> <td></td> <td></td> <td>※R型断熱材 厚さ0.15mm以上</td> <td rowspan="6">○ 乾式保護材</td> </tr> <tr> <td>・A-2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・A-3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・B-1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・B-2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・B-3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・A1-1</td> <td></td> <td>(種類) ※JIS A 9521に基づく※75以上</td> <td></td> <td rowspan="3">・コンクリート押え</td> </tr> <tr> <td>・A1-2</td> <td></td> <td>押出法ポリスチレンフォーム 70g/m²程度</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・A1-3</td> <td></td> <td>断熱材3種bA (スキン層付き)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ B1-1</td> <td>屋根(1)</td> <td>(厚さ)</td> <td></td> <td rowspan="2">※JIS R 1250</td> </tr> <tr> <td>・B1-2</td> <td></td> <td>・50mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・B1-3</td> <td></td> <td>・25mm</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・50mm</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ</p> <p>用途による区分</p> <p>材料構成による区分 ※R種</p> <p>厚さ mm以上</p> <p>※標準仕様書表9.3.1から表9.3.3による</p> <p>粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ</p> <p>用途による区分</p> <p>材料構成による区分 ※R種</p> <p>厚さ mm以上</p> <p>※標準仕様書表9.2.3から標準仕様書表9.2.8による</p> <p>部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ</p> <p>用途による区分</p> <p>材料構成による区分 ※R種</p> <p>厚さ mm以上</p> <p>※標準仕様書表9.2.5から標準仕様書表9.2.8による</p> <p>平場の保護コンクリートの厚さ</p> <p>こて仕上げ ※水下 80mm以上</p> <p>床タイル張り ※水下 60mm以上</p> <p>○ 乾式保護材</p> <p>葉集系パネル: 無石綿の繊維質原料等を主原料として、板状に押出成形シートクレープ養生したもの。</p> <p>金属板合板: 金属板と樹脂を積層一体化したもの。</p> <p>屋根露出防水</p> <p>防水層の種類</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> <th>断熱材</th> <th>仕上塗料</th> <th>高日射反射率防水の適用</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・D-1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・D-2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・D-3</td> <td></td> <td></td> <td>・TAFロフト</td> <td>※TAFロフト</td> </tr> <tr> <td>・D-4</td> <td></td> <td></td> <td>・TAFロフト</td> <td>・TAFロフト</td> </tr> <tr> <td>・D1-1</td> <td>標準仕様書 9.2.2(9) (種類)</td> <td></td> <td>類の製造所の仕様</td> <td>類の製造所の仕様</td> </tr> <tr> <td>・D1-2</td> <td></td> <td>(厚さ)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・25mm</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・50mm</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>屋根露出防水絶縁断熱工法の場合、ルーフレイン回り及び立上り部周辺の断熱材の張りじまい位置 ※図示</p> <p>屋根露出防水絶縁工法及び屋根露出防水絶縁断熱工法の脱気装置の種類及び設置数量</p> <p>種類 ・ ※アスファルトルーフィング製の製造所の指定</p> <p>設置数量 ・ 個 ※アスファルトルーフィング製の製造所の指定</p>	種別	施工箇所	断熱材	絶縁用シート	立上り部の保護方法	・A-1			※R型断熱材 厚さ0.15mm以上	○ 乾式保護材	・A-2				・A-3				・B-1				・B-2				・B-3				・A1-1		(種類) ※JIS A 9521に基づく※75以上		・コンクリート押え	・A1-2		押出法ポリスチレンフォーム 70g/m ² 程度		・A1-3		断熱材3種bA (スキン層付き)		○ B1-1	屋根(1)	(厚さ)		※JIS R 1250	・B1-2		・50mm		・B1-3		・25mm					・50mm			種別	施工箇所	断熱材	仕上塗料	高日射反射率防水の適用	・D-1					・D-2					・D-3			・TAFロフト	※TAFロフト	・D-4			・TAFロフト	・TAFロフト	・D1-1	標準仕様書 9.2.2(9) (種類)		類の製造所の仕様	類の製造所の仕様	・D1-2		(厚さ)					・25mm					・50mm		
種別	施工箇所	断熱材	絶縁用シート	立上り部の保護方法																																																																																																								
・A-1			※R型断熱材 厚さ0.15mm以上	○ 乾式保護材																																																																																																								
・A-2																																																																																																												
・A-3																																																																																																												
・B-1																																																																																																												
・B-2																																																																																																												
・B-3																																																																																																												
・A1-1		(種類) ※JIS A 9521に基づく※75以上		・コンクリート押え																																																																																																								
・A1-2		押出法ポリスチレンフォーム 70g/m ² 程度																																																																																																										
・A1-3		断熱材3種bA (スキン層付き)																																																																																																										
○ B1-1	屋根(1)	(厚さ)		※JIS R 1250																																																																																																								
・B1-2		・50mm																																																																																																										
・B1-3		・25mm																																																																																																										
		・50mm																																																																																																										
種別	施工箇所	断熱材	仕上塗料	高日射反射率防水の適用																																																																																																								
・D-1																																																																																																												
・D-2																																																																																																												
・D-3			・TAFロフト	※TAFロフト																																																																																																								
・D-4			・TAFロフト	・TAFロフト																																																																																																								
・D1-1	標準仕様書 9.2.2(9) (種類)		類の製造所の仕様	類の製造所の仕様																																																																																																								
・D1-2		(厚さ)																																																																																																										
		・25mm																																																																																																										
		・50mm																																																																																																										
○ 合成高分子系ルーフィングシート防水	<p>(9.4.2~4) (9.4.1~3)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">種別</th> <th rowspan="2">施工箇所</th> <th rowspan="2">絶縁用シートの材質</th> <th rowspan="2">断熱材</th> <th colspan="2">仕上塗料</th> <th rowspan="2">高日射反射率防水の適用</th> </tr> <tr> <th>種類</th> <th>使用量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・S-F1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・ルーフィングシート</td> <td>※ルーフィングシートの製造所の仕様</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・S-F2</td> <td></td> <td>※発泡ポリエチレンシート</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・S-M1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・ルーフィングシート</td> <td>※ルーフィングシートの製造所の仕様</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・S-M2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・S-M3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・S1-F1</td> <td></td> <td>※発泡ポリエチレンシート</td> <td></td> <td>・ルーフィングシート</td> <td>※ルーフィングシートの製造所の仕様</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・S1-F2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・S1-M1</td> <td></td> <td>※標準仕様書 9.4.2(3)(a) (種類)</td> <td></td> <td>・ルーフィングシート</td> <td>※ルーフィングシートの製造所の仕様</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ S1-M2</td> <td>○ 屋根(2)</td> <td>※発泡ポリエチレンシート</td> <td></td> <td>・ルーフィングシート</td> <td>※ルーフィングシートの製造所の仕様</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>(厚さ)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・25mm</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・50mm</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	種別	施工箇所	絶縁用シートの材質	断熱材	仕上塗料		高日射反射率防水の適用	種類	使用量	・S-F1				・ルーフィングシート	※ルーフィングシートの製造所の仕様		・S-F2		※発泡ポリエチレンシート					・S-M1				・ルーフィングシート	※ルーフィングシートの製造所の仕様		・S-M2							・S-M3							・S1-F1		※発泡ポリエチレンシート		・ルーフィングシート	※ルーフィングシートの製造所の仕様		・S1-F2							・S1-M1		※標準仕様書 9.4.2(3)(a) (種類)		・ルーフィングシート	※ルーフィングシートの製造所の仕様		○ S1-M2	○ 屋根(2)	※発泡ポリエチレンシート		・ルーフィングシート	※ルーフィングシートの製造所の仕様				(厚さ)							・25mm							・50mm																		
種別	施工箇所					絶縁用シートの材質	断熱材		仕上塗料		高日射反射率防水の適用																																																																																																	
		種類	使用量																																																																																																									
・S-F1				・ルーフィングシート	※ルーフィングシートの製造所の仕様																																																																																																							
・S-F2		※発泡ポリエチレンシート																																																																																																										
・S-M1				・ルーフィングシート	※ルーフィングシートの製造所の仕様																																																																																																							
・S-M2																																																																																																												
・S-M3																																																																																																												
・S1-F1		※発泡ポリエチレンシート		・ルーフィングシート	※ルーフィングシートの製造所の仕様																																																																																																							
・S1-F2																																																																																																												
・S1-M1		※標準仕様書 9.4.2(3)(a) (種類)		・ルーフィングシート	※ルーフィングシートの製造所の仕様																																																																																																							
○ S1-M2	○ 屋根(2)	※発泡ポリエチレンシート		・ルーフィングシート	※ルーフィングシートの製造所の仕様																																																																																																							
		(厚さ)																																																																																																										
		・25mm																																																																																																										
		・50mm																																																																																																										

<p>改質アスファルトシート防水</p>	<p>(9.3.2, 3)(表 9.3.1~3)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">種別</th> <th rowspan="2">施工箇所</th> <th rowspan="2">断熱材</th> <th rowspan="2">防湿シート</th> <th colspan="2">仕上塗料</th> <th rowspan="2">高日射反射率防水の適用</th> </tr> <tr> <th>種類</th> <th>使用量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・AS-T1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・改質アスファルトシート</td> <td>※改質アスファルトシートの製造所の仕様</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・AS-T2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・AS-T3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・AS-T4</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・AS-J1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・AS1-T1</td> <td>標準仕様書 9.3.2(3)(f) (種類)</td> <td></td> <td></td> <td>・設ける (改質アスファルトシートの製造所の仕様による)</td> <td>・設けない</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・AS1-J1</td> <td>(厚さ)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・25mm</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・50mm</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>改質アスファルトシートの種類及び厚さ</p> <p>用途による区分</p> <p>材料構成による区分 ※R種</p> <p>厚さ mm以上</p> <p>※標準仕様書表9.3.1から表9.3.3による</p> <p>粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ</p> <p>用途による区分</p> <p>材料構成による区分 ※R種</p> <p>厚さ mm以上</p> <p>※標準仕様書表9.3.1から表9.3.3による</p> <p>部分粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ</p> <p>用途による区分</p> <p>材料構成による区分 ※R種</p> <p>厚さ mm以上</p> <p>※標準仕様書表9.3.1から表9.3.3による</p> <p>押え金物の材質、形状及び寸法</p> <p>※アルミニウム製 L-30×15×2.0mm程度</p> <p>屋根露出防水絶縁工法及び屋根露出防水絶縁断熱工法の脱気装置の種類及び設置数量</p> <p>種類 ・ ※改質アスファルトシートの製造所の指定</p> <p>設置数量 ・ 個 ※改質アスファルトシートの製造所の指定</p>	種別	施工箇所	断熱材	防湿シート	仕上塗料		高日射反射率防水の適用	種類	使用量	・AS-T1				・改質アスファルトシート	※改質アスファルトシートの製造所の仕様		・AS-T2							・AS-T3							・AS-T4							・AS-J1							・AS1-T1	標準仕様書 9.3.2(3)(f) (種類)			・設ける (改質アスファルトシートの製造所の仕様による)	・設けない		・AS1-J1	(厚さ)							・25mm							・50mm					
種別	施工箇所					断熱材	防湿シート		仕上塗料		高日射反射率防水の適用																																																														
		種類	使用量																																																																						
・AS-T1				・改質アスファルトシート	※改質アスファルトシートの製造所の仕様																																																																				
・AS-T2																																																																									
・AS-T3																																																																									
・AS-T4																																																																									
・AS-J1																																																																									
・AS1-T1	標準仕様書 9.3.2(3)(f) (種類)			・設ける (改質アスファルトシートの製造所の仕様による)	・設けない																																																																				
・AS1-J1	(厚さ)																																																																								
	・25mm																																																																								
	・50mm																																																																								
○ ケイ酸系塗布防水	<p>(9.6.1, 3, 4) (表9.6.1, 2)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・C-U1</td> <td></td> <td>○ C-U P</td> <td>EVビッド (浸透性塗布防水の部分)</td> </tr> </tbody> </table> <p>防水層の種類</p> <p>種別</p> <p>・C-U1</p> <p>施工箇所</p> <p>・雨水貯留槽</p> <p>製品名 (製造所) ビッグサン GRG (大日化成 (株)) 同等品以上</p> <p>防水層の下部</p> <p>壁 () ※コンクリート打放し仕上げ (表6.2.4 B種)</p> <p>天井部 () ※コンクリート打放し仕上げ (表6.2.4 B種)</p> <p>下地処理</p> <p>コンクリートの打継ぎ箇所の処理</p> <p>・ 図示</p> <p>※打継ぎ部分に対し、幅30mm及び深さ30mmにV形にはつり、水洗い清掃した後、防水材の製造所の指定する材料を充填</p> <p>型枠継ぎ目にコーンが使用されている部分及び防水材の塗布面以外の下地処理</p> <p>・ 図示</p> <p>(9.7.2, 3, 5) (表 9.7.1)</p> <p>下表以外は、標準仕様書表 9.7.1 による</p> <p>ただし、外壁タイル接着剤張り目地のシーリングは11章に、カーテンウォール目地のシーリングは17章による</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>シーリング材の種類 (記号)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>図示</td> <td>図示</td> </tr> </tbody> </table> <p>シーリング材の目地寸法</p> <p>○ 図示</p> <p>※標準仕様書表9.7.3(1)(f)~(g)による</p> <p>接着性試験</p> <p>※標準接着性試験</p> <p>・引張接着性試験</p>	種別	施工箇所	種別	施工箇所	・C-U1		○ C-U P	EVビッド (浸透性塗布防水の部分)	施工箇所	シーリング材の種類 (記号)	図示	図示																																																												
種別	施工箇所	種別	施工箇所																																																																						
・C-U1		○ C-U P	EVビッド (浸透性塗布防水の部分)																																																																						
施工箇所	シーリング材の種類 (記号)																																																																								
図示	図示																																																																								

<p>S1-F1, S1-F2, S1-M1及びS1-M2における防湿用フィルムの設置</p> <p>・設ける</p> <p>○設けない</p> <p>S-M2またはS1-M2の立上り部の工法</p> <p>○接着工法 立上り面のシート厚さ ・ ※1.5mm</p> <p>・機械的固定方法</p>	<p>屋内防水</p> <p>防水層の種類</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・E-1</td> <td></td> <td>・E-2</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>保護層</p> <p>・設ける (※図示) ・設けない</p> <p>防水層の下部の立上り</p> <p>※コンクリート打放し仕上げ 標準仕様書表6.2.4[打放し仕上げ種別]のB種</p> <p>押え金物の材質、形状及び寸法</p> <p>※アルミニウム製 L-30×15×2.0mm程度</p> <p>防水層の下部のモルタル塗り ・適用する (施工範囲 ※図示)</p> <p>・適用しない</p> <p>屋根排水溝 ※図示</p>	種別	施工箇所	種別	施工箇所	・E-1		・E-2																																																																	
種別	施工箇所	種別	施工箇所																																																																						
・E-1		・E-2																																																																							
<p>○ 足場その他 (2.2.4)</p> <p>「手すり先行工法に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同ガイドラインの別紙1「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における2の(2)手すり設置方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行う。</p>	<p>改質アスファルトシート防水</p> <p>(9.3.2, 3)(表 9.3.1~3)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">種別</th> <th rowspan="2">施工箇所</th> <th rowspan="2">断熱材</th> <th rowspan="2">防湿シート</th> <th colspan="2">仕上塗料</th> <th rowspan="2">高日射反射率防水の適用</th> </tr> <tr> <th>種類</th> <th>使用量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・AS-T1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・改質アスファルトシート</td> <td>※改質アスファルトシートの製造所の仕様</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・AS-T2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・AS-T3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・AS-T4</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・AS-J1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・AS1-T1</td> <td>標準仕様書 9.3.2(3)(f) (種類)</td> <td></td> <td></td> <td>・設ける (改質アスファルトシートの製造所の仕様による)</td> <td>・設けない</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・AS1-J1</td> <td>(厚さ)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・25mm</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・50mm</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	種別	施工箇所	断熱材	防湿シート	仕上塗料		高日射反射率防水の適用	種類	使用量	・AS-T1				・改質アスファルトシート	※改質アスファルトシートの製造所の仕様		・AS-T2							・AS-T3							・AS-T4							・AS-J1							・AS1-T1	標準仕様書 9.3.2(3)(f) (種類)			・設ける (改質アスファルトシートの製造所の仕様による)	・設けない		・AS1-J1	(厚さ)							・25mm							・50mm					
種別	施工箇所					断熱材	防湿シート		仕上塗料		高日射反射率防水の適用																																																														
		種類	使用量																																																																						
・AS-T1				・改質アスファルトシート	※改質アスファルトシートの製造所の仕様																																																																				
・AS-T2																																																																									
・AS-T3																																																																									
・AS-T4																																																																									
・AS-J1																																																																									
・AS1-T1	標準仕様書 9.3.2(3)(f) (種類)			・設ける (改質アスファルトシートの製造所の仕様による)	・設けない																																																																				
・AS1-J1	(厚さ)																																																																								
	・25mm																																																																								
	・50mm																																																																								
<p>○ 埋戻し及び盛土 (3.2.3)</p> <p>材料及び工法</p> <p>・材料 () 工法 ()</p> <p>※表3.2.1による</p> <p>種類</p> <p>・A 種 適用場所 ()</p> <p>○ B 種 適用場所 (埋戻し)</p> <p>・C 種 適用場所 () 土質 () 受渡場所 ()</p> <p>・D 種 適用場所 ()</p> <p>品質細粒分 (75μm以下) の含有率 (重量百分率) の上限を50%未満とする。</p> <p>※ (1.3.11) による ・構内指示の場所に堆積 ・構内指示の場所に敷き均し (3.2.5)</p> <p>○ 山留めの撤去 (3.3.3)</p> <p>鋼矢板等の抜き後の処理 ・ ※直ちに砂等で充填する</p> <p>山留めの位置 ・ 行う (位置範囲 ※図示)</p>	<p>改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ</p> <p>用途による区分</p> <p>材料構成による区分 ※R種</p> <p>厚さ mm以上</p> <p>※標準仕様書表9.3.1から表9.3.3による</p> <p>粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ</p> <p>用途による区分</p> <p>材料構成による区分 ※R種</p> <p>厚さ mm以上</p> <p>※標準仕様書表9.2.3から標準仕様書表9.2.8による</p> <p>部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ</p> <p>用途による区分</p> <p>材料構成による区分 ※R種</p> <p>厚さ mm以上</p> <p>※標準仕様書表9.2.5から標準仕様書表9.2.8による</p> <p>平場の保護コンクリートの厚さ</p> <p>こて仕上げ ※水下 80mm以上</p> <p>床タイル張り ※水下 60mm以上</p> <p>○ 乾式保護材</p> <p>葉集系パネル: 無石綿の繊維質原料等を主原料として、板状に押出成形シートクレープ養生したもの。</p> <p>金属板合板: 金属板と樹脂を積層一体化したもの。</p> <p>屋根露出防水</p> <p>防水層の種類</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> <th>断熱材</th> <th>仕上塗料</th> <th>高日射反射率防水の適用</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・D-1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・D-2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・D-3</td> <td></td> <td></td> <td>・TAFロフト</td> <td>※TAFロフト</td> </tr> <tr> <td>・D-4</td> <td></td> <td></td> <td>・TAFロフト</td> <td>・TAFロフト</td> </tr> <tr> <td>・D1-1</td> <td>標準仕様書 9.2.2(9) (種類)</td> <td></td> <td>類の製造所の仕様</td> <td>類の製造所の仕様</td> </tr> <tr> <td>・D1-2</td> <td></td> <td>(厚さ)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・25mm</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・50mm</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>屋根露出防水絶縁断熱工法の場合、ルーフレイン回り及び立上り部周辺の断熱材の張りじまい位置 ※図示</p> <p>屋根露出防水絶縁工法及び屋根露出防水絶縁断熱工法の脱気装置の種類及び設置数量</p> <p>種類 ・ ※アスファルトルーフィング製の製造所の指定</p> <p>設置数量 ・ 個 ※アスファルトルーフィング製の製造所の指定</p>	種別	施工箇所	断熱材	仕上塗料	高日射反射率防水の適用	・D-1					・D-2					・D-3			・TAFロフト	※TAFロフト	・D-4			・TAFロフト	・TAFロフト	・D1-1	標準仕様書 9.2.2(9) (種類)		類の製造所の仕様	類の製造所の仕様	・D1-2		(厚さ)					・25mm					・50mm																													
種別	施工箇所	断熱材	仕上塗料	高日射反射率防水の適用																																																																					
・D-1																																																																									
・D-2																																																																									
・D-3			・TAFロフト	※TAFロフト																																																																					
・D-4			・TAFロフト	・TAFロフト																																																																					
・D1-1	標準仕様書 9.2.2(9) (種類)		類の製造所の仕様	類の製造所の仕様																																																																					
・D1-2		(厚さ)																																																																							
		・25mm																																																																							
		・50mm																																																																							
<p>○ 建設発生土の処理 (3.2.5)</p> <p>※ (1.3.11) による ・構内指示の場所に堆積 ・構内指示の場所に敷き均し</p>	<p>改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ</p> <p>用途による区分</p> <p>材料構成による区分 ※R種</p> <p>厚さ mm以上</p> <p>※標準仕様書表9.3.1から表9.3.3による</p> <p>粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ</p> <p>用途による区分</p> <p>材料構成による区分 ※R種</p> <p>厚さ mm以上</p> <p>※標準仕様書表9.2.3から標準仕様書表9.2.8による</p> <p>部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ</p> <p>用途による区分</p> <p>材料構成による区分 ※R種</p> <p>厚さ mm以上</p> <p>※標準仕様書表9.2.5から標準仕様書表9.2.8による</p> <p>平場の保護コンクリートの厚さ</p> <p>こて仕上げ ※水下 80mm以上</p> <p>床タイル張り ※水下 60mm以上</p> <p>○ 乾式保護材</p> <p>葉集系パネル: 無石綿の繊維質原料等を主原料として、板状に押出成形シートクレープ養生したもの。</p> <p>金属板合板: 金属板と樹脂を積層一体化したもの。</p> <p>屋根露出防水</p> <p>防水層の種類</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> <th>断熱材</th> <th>仕上塗料</th> <th>高日射反射率防水の適用</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・D-1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・D-2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・D-3</td> <td></td> <td></td> <td>・TAFロフト</td> <td>※TAFロフト</td> </tr> <tr> <td>・D-4</td> <td></td> <td></td> <td>・TAFロフト</td> <td>・TAFロフト</td> </tr> <tr> <td>・D1-1</td> <td>標準仕様書 9.2.2(9) (種類)</td> <td></td> <td>類の製造所の仕様</td> <td>類の製造所の仕様</td> </tr> <tr> <td>・D1-2</td> <td></td> <td>(厚さ)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・25mm</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・50mm</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>屋根露出防水絶縁断熱工法の場合、ルーフレイン回り及び立上り部周辺の断熱材の張りじまい位置 ※図示</p> <p>屋根露出防水絶縁工法及び屋根露出防水絶縁断熱工法の脱気装置の種類及び設置数量</p> <p>種類 ・ ※アスファルトルーフィング製の製造所の指定</p> <p>設置数量 ・ 個 ※アスファルトルーフィング製の製造所の指定</p>	種別	施工箇所	断熱材	仕上塗料	高日射反射率防水の適用	・D-1					・D-2					・D-3			・TAFロフト	※TAFロフト	・D-4			・TAFロフト	・TAFロフト	・D1-1	標準仕様書 9.2.2(9) (種類)		類の製造所の仕様	類の製造所の仕様	・D1-2		(厚さ)					・25mm					・50mm																													
種別	施工箇所	断熱材	仕上塗料	高日射反射率防水の適用																																																																					
・D-1																																																																									
・D-2																																																																									
・D-3			・TAFロフト	※TAFロフト																																																																					
・D-4			・TAFロフト	・TAFロフト																																																																					
・D1-1	標準仕様書 9.2.2(9) (種類)		類の製造所の仕様	類の製造所の仕様																																																																					
・D1-2		(厚さ)																																																																							
		・25mm																																																																							
		・50mm																																																																							
<p>○ 山留めの撤去 (3.3.3)</p> <p>鋼矢板等の抜き後の処理 ・ ※直ちに砂等で充填する</p> <p>山留めの位置 ・ 行う (位置範囲 ※図示)</p>	<p>改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ</p> <p>用途による区分</p> <p>材料構成による区分 ※R種</p> <p>厚さ mm以上</p> <p>※標準仕様書表9.3.1から表9.3.3による</p> <p>粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ</p> <p>用途による区分</p> <p>材料構成による区分 ※R種</p> <p>厚さ mm以上</p> <p>※標準仕様書表9.2.3から標準仕様書表9.2.8による</p> <p>部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ</p> <p>用途による区分</p> <p>材料構成による区分 ※R種</p> <p>厚さ mm以上</p> <p>※標準仕様書表9.2.5から標準仕様書表9.2.8による</p> <p>平場の保護コンクリートの厚さ</p> <p>こて仕上げ ※水下 80mm以上</p> <p>床タイル張り ※水下 60mm以上</p> <p>○ 乾式保護材</p> <p>葉集系パネル: 無石綿の繊維質原料等を主原料として、板状に押出成形シートクレープ養生したもの。</p> <p>金属板合板: 金属板と樹脂を積層一体化したもの。</p> <p>屋根露出防水</p> <p>防水層の種類</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> <th>断熱材</th> <th>仕上塗料</th> <th>高日射反射率防水の適用</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・D-1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・D-2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・D-3</td> <td></td> <td></td> <td>・TAFロフト</td> <td>※TAFロフト</td> </tr> <tr> <td>・D-4</td> <td></td> <td></td> <td>・TAFロフト</td> <td>・TAFロフト</td> </tr> <tr> <td>・D1-1</td> <td>標準仕様書 9.2.2(9) (種類)</td> <td></td> <td>類の製造所の仕様</td> <td>類の製造所の仕様</td> </tr> <tr> <td>・D1-2</td> <td></td> <td>(厚さ)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・25mm</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・50mm</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>屋根露出防水絶縁断熱工法の場合、ルーフレイン回り及び立上り部周辺の断熱材の張りじまい位置 ※図示</p> <p>屋根露出防水絶縁工法及び屋根露出防水絶縁断熱工法の脱気装置の種類及び設置数量</p> <p>種類 ・ ※アスファルトルーフィング製の製造所の指定</p> <p>設置数量 ・ 個 ※アスファルトルーフィング製の製造所の指定</p>	種別	施工箇所	断熱材	仕上塗料	高日射反射率防水の適用	・D-1					・D-2					・D-3			・TAFロフト	※TAFロフト	・D-4			・TAFロフト	・TAFロフト	・D1-1	標準仕様書 9.2.2(9) (種類)		類の製造所の仕様	類の製造所の仕様	・D1-2		(厚さ)					・25mm					・50mm																													
種別	施工箇所	断熱材	仕上塗料	高日射反射率防水の適用																																																																					
・D-1																																																																									
・D-2																																																																									
・D-3			・TAFロフト	※TAFロフト																																																																					
・D-4			・TAFロフト	・TAFロフト																																																																					
・D1-1	標準仕様書 9.2.2(9) (種類)		類の製造所の仕様	類の製造所の仕様																																																																					
・D1-2		(厚さ)																																																																							
		・25mm																																																																							
		・50mm																																																																							
<p>4 地業工事</p> <p>特記仕様書 (構造関係) による</p>	<p>改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ</p> <p>用途による区分</p> <p>材料構成による区分 ※R種</p> <p>厚さ mm以上</p> <p>※標準仕様書表9.3.1から表9.3.3による</p> <p>粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ</p> <p>用途による区分</p> <p>材料構成による区分 ※R種</p> <p>厚さ mm以上</p> <p>※標準仕様書表9.2.3から標準仕様書表9.2.8による</p> <p>部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ</p> <p>用途による区分</p> <p>材料構成による区分 ※R種</p> <p>厚さ mm以上</p> <p>※標準仕様書表9.2.5から標準仕様書表9.2.8による</p> <p>平場の保護コンクリートの厚さ</p> <p>こて仕上げ ※水下 80mm以上</p> <p>床タイル張り ※水下 60mm以上</p> <p>○ 乾式保護材</p> <p>葉集系パネル: 無石綿の繊維質原料等を主原料として、板状に押出成形シートクレープ養生したもの。</p> <p>金属板合板: 金属板と樹脂を積層一体化したもの。</p> <p>屋根露出防水</p> <p>防水層の種類</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> <th>断熱材</th> <th>仕上塗料</th> <th>高日射反射率防水の適用</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・D-1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・D-2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・D-3</td> <td></td> <td></td> <td>・TAFロフト</td> <td>※TAFロフト</td> </tr> <tr> <td>・D-4</td> <td></td> <td></td> <td>・TAFロフト</td> <td>・TAFロフト</td> </tr> <tr> <td>・D1-1</td> <td>標準仕様書 9.2.2(9) (種類)</td> <td></td> <td>類の製造所の仕様</td> <td>類の製造所の仕様</td> </tr> <tr> <td>・D1-2</td> <td></td> <td>(厚さ)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・25mm</td> <td></td> <td></</td></tr></tbody></table>	種別	施工箇所	断熱材	仕上塗料	高日射反射率防水の適用	・D-1					・D-2					・D-3			・TAFロフト	※TAFロフト	・D-4			・TAFロフト	・TAFロフト	・D1-1	標準仕様書 9.2.2(9) (種類)		類の製造所の仕様	類の製造所の仕様	・D1-2		(厚さ)					・25mm		</																																
種別	施工箇所	断熱材	仕上塗料	高日射反射率防水の適用																																																																					
・D-1																																																																									
・D-2																																																																									
・D-3			・TAFロフト	※TAFロフト																																																																					
・D-4			・TAFロフト	・TAFロフト																																																																					
・D1-1	標準仕様書 9.2.2(9) (種類)		類の製造所の仕様	類の製造所の仕様																																																																					
・D1-2		(厚さ)																																																																							
		・25mm		</																																																																					

10 石工事

・ 施工 (10.1.3, 5)

・ 石材等

天然石 (10.2.1, 3) (表 10.2.1, 2)

施工箇所	岩石の種類	等級	形状及び寸法(mm)	厚さ(mm)	表面仕上げの種類	備考
・ 床石	・ 花こう岩	※2等品	※正方形に近い矩形(石材1枚の面積が0.8㎡以下)	・ 25	ジストハート仕上げ	
・ 欄木	・ 花こう岩 中国産程度	※1等品	H60~140	・ 20	本磨	

テラゾブロック

施工箇所	種石の種類	種石の大きさ(mm)	形状による区分	仕上げ面	寸法(mm)	仕上げの種類	備考
	※大理石 ・ 花こう岩	※1.5~12	・ 平もの ・ 片面 ・ 夜もの ・ 両面				

テラゾタイル

施工箇所	種石の種類	種石の大きさ(mm)	寸法による区分	表面仕上げ	備考
	※大理石 ・ 花こう岩	※1.5~12	・ 300型 ・ 400型		

取付け用モルタル

既設合の目地モルタル

石表面処理材

裏打ち処理材

金物の固定に使用する充填材料等

・ 外壁湿式工法 (10.2.2, 3) (10.3.2, 3)

受金物 材質 ※SUS304

形状及び寸法

- ・ L-75×75×6(mm)の加工 長さ100mm
- ・ L-75×75×6(mm)の加工 長さ150mm

アンカーの材質及び寸法 ※SS400 M12

あと施工アンカーの材質及び寸法等 ()

ドレンパイプの材質 樹脂ネット製パイプ クロスメッシュ巻き 25~35φ

石表面処理

裏打ち処理

下地ごしらえ

目地

伸縮調整目地

位置 図示 ※標準仕様書表11.1.1による

シーリング材の目地寸法

図示 ※幅・深さとも10mm以上

・ 内壁空積工法 (10.2.2) (10.4.2, 3)

受金物 材質 ※SUS304

形状及び寸法

- ・ L-75×75×6(mm)の加工 長さ100mm
- ・ L-75×75×6(mm)の加工 長さ150mm

アンカーの材質及び寸法 ※SS400 M12

あと施工アンカーの材質及び寸法等 ()

石表面処理

裏打ち処理

下地ごしらえ

目地

伸縮調整目地

位置 図示 ※標準仕様書表11.1.1による

シーリング材の目地寸法

図示 ※幅・深さとも10mm

・ 乾式工法 (10.2.2) (10.5.2, 3) (表10.2.4)

乾式工法による金物の種類、形状、寸法等 ()

取付け方式

アンカーの材質及び寸法 ※ステンレス(SUS304) M10

あと施工アンカーの材質及び寸法等 ()

だば用の穴の位置 図示 ※標準仕様書10.5.2(2) (7)による

石表面処理

裏打ち処理

外壁の工法

建築基準法に基づき定まる風圧力の(・1・1.15・1.3)倍の風圧力に対応した工法

目地

目地幅(mm) ※8以上

シーリング材 図示 ※標準仕様書9.7による

・ 床及び階段の石張り (10.6.2, 3)

床石張りの石表面処理

階段張りの石表面処理

目地

伸縮調整目地

位置 図示

※床面積30㎡程度ごと、細長い通路の場合6㎡程度ごと及び他の部材と取り合う箇所

シーリング材の目地寸法

図示 ※幅・深さとも10mm

・ アーチ、上げ裏等の石張り (10.2.2) (10.7.1, 2)

取付け工法

取付け金物

材質

寸法

引金物

だば

かすがい

受金物

ファスナーの方式

吊金物及び化錠吊りボルト

取付ける吊金物

化錠吊りボルト

・ 敷けない

あと施工アンカーの材質及び寸法 ()

石表面処理

裏打ち処理

目地

伸縮調整目地

位置

シーリング材の目地寸法

図示 ※幅・深さとも10mm以上

・ 笠木、甲板等の石張り (10.2.2) (10.7.1, 3)

取付け工法

取付け金物

材質

寸法

引金物

だば

かすがい

受金物

ファスナーの方式

あと施工アンカーの材質及び寸法 ()

石表面処理

乾式工法の場合の取付け代

石材の表面の補強用モルタル

・ 伸縮調整目地及びびり割れ剥落目地 (11.1.3) (表11.1.1)

位置

目地寸法

・ セメントモルタルによるタイル張り (11.2.2, 7)

タイルの形状、寸法等

施工箇所	形状/寸法(mm)	再生材料の吸水率による区分	色	耐凍害性	耐凍割り性	備考
		Ⅰ類	無	有	有	
汚垂れタイル	W600	○	○	○	○	
床用300T	300角	○	○	○	○	
段鼻すべり止めタイル	150×60	○	○	○	○	

標準的な曲がりの役物は一体成形とする

試験張り

見本焼き

下地モルタル塗りを行うコンクリート素地の処理

目荒し工法

壁タイル張りの工法

内装タイル

外装タイル

内装タイル以外のユニットタイル

・ 既設合目地材

・ 汚垂れタイル

・ 床用300T

・ 段鼻すべり止めタイル

・ 有機系接着剤によるタイル張り (11.3.2~4, 7)

タイルの形状、寸法等

施工箇所	形状/寸法(mm)	再生材料の吸水率による区分	色	耐凍害性	備考
		Ⅰ類	無	有	
		○	○	○	
		○	○	○	
		○	○	○	

標準的な曲がりの役物は一体成形とする

試験張り

見本焼き

接着剤のホルムアルデヒド放散量

目地のシーリング材

打継ぎ目地

伸縮調整目地

その他の目地

下地調整塗材塗りを行うコンクリート素地の処理

・ 表面仕上げ (12.1.4) (表12.1.1)

機械加工	表面仕上げの種類	適用箇所
	・ A種	
	・ B種	
	・ C種	
手加工	・ H-A種	休憩室(男)(女)タタミ寄せ、雑巾槽、木製欄木
	・ H-B種	
	・ H-C種	

・ 製材 ㊦ (12.2.1) (12.4.1) (12.5.1) (12.6.1) (12.7.1)

・ 製材の日本農林規格による下地用針葉樹製材

施工箇所	樹種	寸法(mm)	等級	形状	含水率	保存処理	間伐材等の適用
			※2級		※A種・B種		
			※2級		※A種・B種		
			※2級		※A種・B種		

○ 製材の日本農林規格による造作用針葉樹製材

施工箇所	樹種	寸法(mm)	等級	形状	含水率	保存処理	間伐材等の適用
見え掛り面(休憩室(男)(女)畳敷)	桧	40×60	※上小節	図示	※A種・B種		
見え掛り面(休憩室(男)(女)畳敷)	桧	24×60	※上小節	図示	※A種・B種		
木製欄木					※A種・B種		

・ 製材の日本農林規格による広葉樹製材

施工箇所	樹種	寸法(mm)	等級	形状	含水率	保存処理	間伐材等の適用
			※1級		※10%以下 ・A種・B種		
			※1級		※10%以下 ・A種・B種		
			※1級		※10%以下 ・A種・B種		

・ 製材の日本農林規格以外の製材

施工箇所	樹種	寸法(mm)	材面の品質	防虫処理	含水率	間伐材等の適用
			()	・ 適用する ・ 適用しない	※A種・B種	
			()	・ 適用する ・ 適用しない	※A種・B種	
			()	・ 適用する ・ 適用しない	※A種・B種	

・ 造作用集成材 ㊦ (12.2.1)

ホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外

○ 集材の日本農林規格による造作用集成材

施工箇所	樹種	寸法(mm)	見付け材面数	見付け材面の品質	間伐材等の適用
縦横	タモ	図示	図示	※1等・2等	
見切	タモ	図示	図示	※1等・2等	
ユナダ	タモ	図示	図示	※1等・2等	
ナラダ	タモ	図示	図示	※1等・2等	
ワ3方枠	タモ	図示	図示	※1等・2等	
手摺	タモ	図示	図示	※1等・2等	
木製欄木	タモ	図示	図示	※1等・2等	
(保室畳敷)	ナラ	図示	図示	※1等・2等	
上がり框				※1等・2等 ※1等・2等	

・ 集材の日本農林規格による化錠ばり造作用集成材

施工箇所	樹種	寸法(mm)	化錠薄板の厚さ(mm)	見付け材面数	見付け材面の品質	間伐材等の適用
化錠薄板					※1等・2等	
芯材					※1等・2等	
化錠薄板					※1等・2等	
芯材					※1等・2等	

・ 集材の日本農林規格による化錠ばり構造用集成材

施工箇所	樹種	寸法(mm)	化錠薄板の厚さ(mm)	見付け材面の品質	含水率	間伐材等の適用
化錠薄板					※15%以下	
芯材					※15%以下	
化錠薄板					※15%以下	
芯材					※15%以下	

・ 集材の日本農林規格以外の造作用集成材

施工箇所	樹種	寸法(mm)	見付け材面の品質	含水率	間伐材等の適用
				※15%以下	
				※15%以下	
				※15%以下	

・ 集材の日本農林規格以外の化錠ばり造作用集成材

施工箇所	樹種	寸法(mm)	化錠薄板 見付け材面の厚さ(mm)の品質	含水率	間伐材等の適用
化錠薄板				※15%以下	
芯材				※15%以下	
化錠薄板				※15%以下	
芯材				※15%以下	

・ 集材の日本農林規格以外の化錠ばり構造用集成材

施工箇所	樹種	寸法(mm)	化錠薄板 見付け材面の厚さ(mm)の品質	含水率	間伐材等の適用
化錠薄板				※15%以下	
芯材				※15%以下	
化錠薄板				※15%以下	
芯材				※15%以下	

・ 造作用単板積層材 ㊦ (12.2.1)

ホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外

・ 単板積層材の日本農林規格による造作用単板積層材

施工箇所	厚さ(mm)	表面の化錠加工	防虫処理	間伐材等の適用
		・ 有り(加工・天然木化錠加工・塗装加工)	・ 適用する	
		・ 無し(等級:)	・ 適用しない	
		・ 有り(加工・天然木化錠加工・塗装加工)	・ 適用する	
		・ 無し(等級:)	・ 適用しない	

・ 単板積層材の日本農林規格以外の造作用単板積層材

施工箇所	厚さ(mm)	表面の化錠加工	含水率	防虫処理	間伐材等の適用
		・ 有り(加工・天然木化錠加工・塗装加工)	・ ※14%以下	・ 適用する	
		・ 無し()		・ 適用しない	
		・ 有り(加工・天然木化錠加工・塗装加工)	・ ※14%以下	・ 適用する	
		・ 無し()		・ 適用しない	

・ CLT (直交集成板) ㊦

施工箇所	品名	曲げ性能(強度等級)	種別	接着性能(使用環境)	樹種	寸法(mm)	間伐材等の適用

・ 構造用合板 ㊦ (12.2.1)

ホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外

○ 普通合板 ㊦

施工箇所	厚さ(mm)	単板の樹種名	接着の程度	板面の品質	防虫処理	間伐材等の適用
縦甲板	○12	ラワン	※1類	広葉樹 ・1等 ※2等以上	・ 適用する	
張り下地	※5.5		・2類	針葉樹 ※C-D以上	・ 適用しない	

・ 構造用合板 ㊦

施工箇所	厚さ(mm)	等級	単板の樹種名	接着の程度	板面の品質	防虫処理	強度等級	間伐材等の適用
フローリング	・15	・1級		※1類	・ ※C-D以上	・ 適用する	()	
下地	※12	※2級以上		・ ※C-D以上	・ 適用しない	・ 適用する	()	
				※1類	・ 適用する	・ 適用しない	()	

<p>・「合板の日本農林規格」による化粧張り構造用合板G</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>単板の樹種名</th> <th>接着の程度</th> <th>防虫処理</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※1類・特類</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>					施工箇所	厚さ(mm)	単板の樹種名	接着の程度	防虫処理	間伐材等の適用				※1類・特類				
施工箇所	厚さ(mm)	単板の樹種名	接着の程度	防虫処理	間伐材等の適用													
			※1類・特類															
<p>・「合板の日本農林規格」による天然木化粧合板G</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>化粧板に使用する単板の厚さ(mm)</th> <th>接着の程度</th> <th>防虫処理の適用</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>※1類・2類</td> <td>・適用する</td> <td></td> </tr> </table>					施工箇所	化粧板に使用する単板の厚さ(mm)	接着の程度	防虫処理の適用	間伐材等の適用			※1類・2類	・適用する					
施工箇所	化粧板に使用する単板の厚さ(mm)	接着の程度	防虫処理の適用	間伐材等の適用														
		※1類・2類	・適用する															
<p>・「合板の日本農林規格」による特殊加工化粧合板G</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>接着の程度</th> <th>表面性能</th> <th>化粧加工の方法</th> <th>防虫処理の適用</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>※1類・特類</td> <td></td> <td></td> <td>・適用する</td> <td></td> </tr> </table>					施工箇所	厚さ(mm)	接着の程度	表面性能	化粧加工の方法	防虫処理の適用	間伐材等の適用			※1類・特類			・適用する	
施工箇所	厚さ(mm)	接着の程度	表面性能	化粧加工の方法	防虫処理の適用	間伐材等の適用												
		※1類・特類			・適用する													
<p>・パーティクルボードG</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>表裏面の状態による区分</th> <th>曲げ強さによる区分</th> <th>耐水性による区分</th> <th>難燃性による区分</th> </tr> <tr> <td></td> <td>※15</td> <td></td> <td>※13タイプ</td> <td>※P又はM</td> <td></td> </tr> </table>					施工箇所	厚さ(mm)	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	耐水性による区分	難燃性による区分		※15		※13タイプ	※P又はM			
施工箇所	厚さ(mm)	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	耐水性による区分	難燃性による区分													
	※15		※13タイプ	※P又はM														
<p>・構造用パネル</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>等級</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・1級・2級・3級・4級</td> </tr> </table>					施工箇所	厚さ(mm)	等級			・1級・2級・3級・4級								
施工箇所	厚さ(mm)	等級																
		・1級・2級・3級・4級																
<p>・MDF G</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>表裏面の状態による区分</th> <th>曲げ強さによる区分</th> <th>接着剤による区分</th> <th>難燃性による区分</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>					施工箇所	厚さ(mm)	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	接着剤による区分	難燃性による区分	間伐材等の適用							
施工箇所	厚さ(mm)	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	接着剤による区分	難燃性による区分	間伐材等の適用												
○接着剤	<p>(12.2.2, 3)</p> <p>接着剤は可塑剤(難燃性の可塑剤を除く)が添付されていないものとする。 ホルムアルデヒドの放散量 ※ 規制対象外</p>																	
・防蟻・防蟻処理	<p>(12.3.1, 2)</p> <p>・防蟻、防蟻処理を省略できる樹種による製材 適用部位：()</p> <p>・薬剤の加圧注入による防蟻・防蟻処理 適用部位</p> <table border="1"> <tr> <th>保存処理性能区分</th> </tr> <tr> <td>・K2・K3・K4</td> </tr> <tr> <td>・K2・K3・K4</td> </tr> <tr> <td>・K2・K3・K4</td> </tr> </table>				保存処理性能区分	・K2・K3・K4	・K2・K3・K4	・K2・K3・K4										
保存処理性能区分																		
・K2・K3・K4																		
・K2・K3・K4																		
・K2・K3・K4																		
・薬剤の塗布等による防蟻・防蟻処理	<p>適用部位</p> <table border="1"> <tr> <th>処理の方法</th> <th>薬剤の方法</th> </tr> <tr> <td>・</td> <td>※JIS K 1571に適合又は同等品</td> </tr> </table>				処理の方法	薬剤の方法	・	※JIS K 1571に適合又は同等品										
処理の方法	薬剤の方法																	
・	※JIS K 1571に適合又は同等品																	
・薬剤の接着剤への混入による防蟻・防蟻処理	<p>適用部位 ()</p>																	

<p>・長尺金属板葺</p> <p>(13.2.2, 3)</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>板及びコイルの種類</th> <th>葺きの耐久性、めつき付着量等の種類及び記号</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>屋根葺形式</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td></td> <td>※JIS G 3322の屋根用コイル</td> <td></td> <td></td> <td>・心木なし瓦葺葺 ・立平葺 ・蟻掛葺 ・横葺</td> <td></td> </tr> </table> <p>下葺材料 ・アスファルトルーフィング 940 ・改質アスファルトルーフィング下葺材 (・一般型「イ」・複層材「II」・粘着層付「I」)</p> <p>工法 建築基準法に基づき定まる風圧力の(・1・1.15・1.3)倍の風圧力に対応した工法 電止め・設置する(施工箇所) 図示</p>					施工箇所	板及びコイルの種類	葺きの耐久性、めつき付着量等の種類及び記号	厚さ(mm)	屋根葺形式	備考		※JIS G 3322の屋根用コイル			・心木なし瓦葺葺 ・立平葺 ・蟻掛葺 ・横葺																					
施工箇所	板及びコイルの種類	葺きの耐久性、めつき付着量等の種類及び記号	厚さ(mm)	屋根葺形式	備考																															
	※JIS G 3322の屋根用コイル			・心木なし瓦葺葺 ・立平葺 ・蟻掛葺 ・横葺																																
<p>(13.2.2) (13.3.2.) (表 13.2.1)</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>形式</th> <th>山高、山ピッチ</th> <th>耐力による区分</th> <th>材種による区分</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>軒先面戸板</th> <th>耐火性能</th> </tr> <tr> <td>屋根:</td> <td>○重ね形</td> <td>()</td> <td>○種</td> <td>※鋼板葺</td> <td>・0.6</td> <td>・有り</td> <td>・30分</td> </tr> <tr> <td>渡り廊下(2)</td> <td>・はげ締め形</td> <td>85</td> <td>300程度</td> <td>・7mm以下</td> <td></td> <td>・無し</td> <td>○無し</td> </tr> <tr> <td>渡り廊下(3)</td> <td>・かん合形</td> <td></td> <td></td> <td>合金板葺</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>					施工箇所	形式	山高、山ピッチ	耐力による区分	材種による区分	厚さ(mm)	軒先面戸板	耐火性能	屋根:	○重ね形	()	○種	※鋼板葺	・0.6	・有り	・30分	渡り廊下(2)	・はげ締め形	85	300程度	・7mm以下		・無し	○無し	渡り廊下(3)	・かん合形			合金板葺			
施工箇所	形式	山高、山ピッチ	耐力による区分	材種による区分	厚さ(mm)	軒先面戸板	耐火性能																													
屋根:	○重ね形	()	○種	※鋼板葺	・0.6	・有り	・30分																													
渡り廊下(2)	・はげ締め形	85	300程度	・7mm以下		・無し	○無し																													
渡り廊下(3)	・かん合形			合金板葺																																
<p>材料 板及びコイルの種類 (JIS G 3322) 差戻の耐久性、めつき付着量等の種類及び記号 (AZ150) タイトフレームにJIS G 3302以外の鋼材を直接外気の影響を受けない屋内で使用する場合の表面処理 (標準仕様書表 14.2.2による) ・E種 ・F種 断熱材 有り(種別): 厚さ(mm): 防火性能: 時間) ○無し</p> <p>工法 建築基準法に基づき定まる風圧力の(・1・1.15・1.3)倍の風圧力に対応した工法 折板のけらば納め ・ ※けらば包みによる方法</p>																																				
<p>(13.4.2, 3)</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>種類</th> <th>製法に形状による区分</th> <th>寸法による区分</th> <th>大きさ</th> <th>産地</th> <th>役物の種類</th> <th>止め瓦</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・適用する ・適用しない ・適用する ・適用しない</td> </tr> </table>					施工箇所	種類	製法に形状による区分	寸法による区分	大きさ	産地	役物の種類	止め瓦								・適用する ・適用しない ・適用する ・適用しない																
施工箇所	種類	製法に形状による区分	寸法による区分	大きさ	産地	役物の種類	止め瓦																													
							・適用する ・適用しない ・適用する ・適用しない																													
<p>JIS A5208に基づく凍害試験等 ・行方 ・行かない</p> <p>瓦葺木 材質 ※杉 寸法 ※幅21×高さ15(mm)以上 金物等 材質、形状、寸法及び取付方法 ※図示</p> <p>棟補強用芯材 材質 ※杉 寸法 ※幅40×高さ30(mm)以上</p> <p>工法 建築基準法に基づき定まる風圧力の(・1・1.15・1.3)倍の風圧力に対応した工法 瓦葺木の留付け工法 ※図示 棟の工法 標準仕様書13.4.3(4) (7) (4)</p>																																				
<p>(13.5.2, 3) (表 13.5.5)</p> <p>とい その他材種 ・配管用鋼管 ○硬質ポリ塩化ビニル管 ・ルーフトレン とい受金物 材種 ○ステンレス (SUS304) ※溶融亜鉛めっきを行ったもの 形状 ※市販品(とい径 100 以下) 25×4.5 (とい径 100 を超えるもの) 取付け間隔 足金物 材種 ○ステンレス (SUS304) ※溶融亜鉛めっきを行ったもの 形状 ※市販品 取付け間隔 多雪地域 ・適用する ・適用しない 防蟻材のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 鋼管製といの防蟻巻き ・適用する (工法: ・ ※標準仕様書表13.5.4による) ・適用しない ルーフトレンの材種その他 種別 ○ろく層根用(・縦型 ○横型) 屋根(1) (2) 鋼鉄葺 ・バルコニー用 ・バルコニー中継用</p>																																				

<p>○ ステンレスの表面仕上げ</p> <p>(14.2.1)</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>施工箇所 (手すり、タラップ、建具以外)</th> </tr> <tr> <td>※ H L 程度</td> <td>図示</td> </tr> <tr> <td>・ 鏡面仕上げ程度</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ No.2B 程度</td> <td></td> </tr> </table>					種類	施工箇所 (手すり、タラップ、建具以外)	※ H L 程度	図示	・ 鏡面仕上げ程度		・ No.2B 程度																								
種類	施工箇所 (手すり、タラップ、建具以外)																																		
※ H L 程度	図示																																		
・ 鏡面仕上げ程度																																			
・ No.2B 程度																																			
<p>・ アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理</p> <p>(14.2.2) (表 14.2.1)</p> <table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>色合い等</th> <th>施工箇所 (成形板、笠木、建具以外)</th> </tr> <tr> <td>BB-2種</td> <td>・標準色 () ・特注色 ()</td> <td>外壁庇下部</td> </tr> </table> <p>陽極酸化皮膜の着色方法 ※二次電解着色 ・三次電解着色</p>					種別	色合い等	施工箇所 (成形板、笠木、建具以外)	BB-2種	・標準色 () ・特注色 ()	外壁庇下部																									
種別	色合い等	施工箇所 (成形板、笠木、建具以外)																																	
BB-2種	・標準色 () ・特注色 ()	外壁庇下部																																	
<p>(14.2.3) (表 14.2.2)</p> <table border="1"> <tr> <th>表面処理方法</th> <th>種別</th> <th>施工箇所 (手すり、タラップ以外)</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">溶融亜鉛めっき</td> <td>○A種 外部</td> <td>図示</td> </tr> <tr> <td>○B種 外部</td> <td>図示</td> </tr> <tr> <td>○C種 外部</td> <td>図示</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">電気亜鉛めっき</td> <td>・D種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・E種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・F種</td> <td></td> </tr> </table>					表面処理方法	種別	施工箇所 (手すり、タラップ以外)	溶融亜鉛めっき	○A種 外部	図示	○B種 外部	図示	○C種 外部	図示	電気亜鉛めっき	・D種		・E種		・F種															
表面処理方法	種別	施工箇所 (手すり、タラップ以外)																																	
溶融亜鉛めっき	○A種 外部	図示																																	
	○B種 外部	図示																																	
	○C種 外部	図示																																	
電気亜鉛めっき	・D種																																		
	・E種																																		
	・F種																																		
<p>○ 鉄鋼の亜鉛めっき</p> <p>(14.2.3) (表 14.2.2)</p>																																			
<p>○ 軽量鉄骨天井下地</p> <p>(14.4.2~4) (表 14.4.1)</p> <p>野縁等の種類 屋外 (※ 25 形 ・ 19 形) 屋内 (※ 19 形 ・ 25 形) ・屋外の軒天井、ピロティ天井等</p> <p>工法 建築基準法に基づき定まる風圧力の(・1・1.15・1.3)倍の風圧力に対応した工法 野縁受、吊りボルト及びインサートの間隔 図示 ・周辺部の端からの間隔 図示 野縁の間隔 図示 ・吊りボルトの間隔が900mmを超える場合 補強方法 ※図示 ・天井のふところ高が1.5m以上3.0m以下の場合 補強方法 ※標準仕様書14.4.4(8)による 図示 ・天井のふところ高が3.0mを超える場合 補強方法 ※図示 ・天井下地材における耐震性を考慮した補強 補強箇所 図示 補強方法 ※図示</p>																																			
<p>(14.5.3, 4) (表 14.5.1)</p> <p>スタッド、ランナーの種類 ※標準仕様書表14.5.1によるスタッドの高さによる区分に応じた種類 ○ 図示 スタッドの高さが5.0mを超える場合 ※図示 出入口及びこれに準ずる開口部の補強 ○標準仕様書14.5.1による ※標準仕様書14.5.4.(5)による ○図示</p>																																			
<p>○ 軽量鉄骨壁下地</p> <p>(14.5.3, 4) (表 14.5.1)</p>																																			
<p>・ 金属成形板張り</p> <p>(14.6.2, 3) (表 14.2.1)</p> <table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>製法</th> <th>形状</th> <th>板厚(mm)</th> <th>板厚(mm)</th> <th>表面処理</th> <th>種別</th> <th>色合い等</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">・7mm以下</td> <td>・押し出し</td> <td>ワンダ形</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ロール</td> <td>パネル形</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・プレス</td> <td>パネル形</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>取付け用下地 ※標準仕様書14.4による 図示 伸縮調整継手 設ける(施工箇所) 図示 () 設けない</p> <p>・ アルミニウム製笠木 種類 ・ 250形 ・ 300形 ・ 350形 図示 表面処理 種別 (BB-1) 種 () 色合い等 ・ 標準色 () ・ 特注色 () 笠木の固定金具の工法等 建築基準法に基づき定まる風圧力の(・1・1.15・1.3)倍の風圧力に対応した工法</p>					種別	製法	形状	板厚(mm)	板厚(mm)	表面処理	種別	色合い等	・7mm以下	・押し出し	ワンダ形						・ロール	パネル形						・プレス	パネル形						
種別	製法	形状	板厚(mm)	板厚(mm)	表面処理	種別	色合い等																												
・7mm以下	・押し出し	ワンダ形																																	
	・ロール	パネル形																																	
・プレス	パネル形																																		
<p>(14.7.2, 3) (表 14.2.1) (表 14.7.1)</p> <p>○ 手すり及びタラップ</p> <p>(14.8.2, 3)</p> <p>手すり ○ SUS304 (表面処理) ・ ※HL程度) ○鋼製 表面処理 溶融亜鉛めっき種別 ※標準仕様書14.2.2による</p> <p>タラップ ○ SUS304 (表面処理) ○ 研磨なし ・ HL程度) ・ 鋼製 (表面処理) ※溶融亜鉛めっき種別 ()</p>																																			
<p>○ モルタル塗り</p> <p>(15.3.2, 5)</p> <p>モルタル ○ 現場調合材料 ・ 既調合材料 既調合材料 () 既製目地材 設ける 施工箇所 () 形状 (※図示) () 設けない 床の目地 設ける (目地割り) ※2 m程度 (最大目地間隔3 m程度) (種類) ※押し目地) 設けない 外装タイル張り下地等の下地モルタル塗り及び下地調整塗料塗りの接着剤試験 ・適用する ○適用しない ○防水剤</p>																																			

<p>・ ラス系下地</p> <p>(15.2.4)</p> <p>ラス系下地 ・通気構造単層下地 換気口部の防水処理 ・通気構造二層下地 ・直張りラスモルタル下地 ・直張りラスシートモルタル下地 ・耐力壁、防火構造、準防火構造等の指定 ()</p> <p>ラスの材料 素材による区分 () 種類 () 単位面積当たりの質量 ()</p>																																																	
<p>(15.5.2) (表 15.5.1)</p> <p>○ セルフレベリング材塗り</p> <p>(15.6.2)</p> <p>建物内部に使用する塗料のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 ・ 仕上塗料の種類 ・塗り付け仕上塗料 種類 (呼び名) 仕上げの形状・工法 吸放湿材 防火材料 ・外装薄塗料 S i ・砂壁状 ・適用する ・可とう形外装薄塗料 S i ・ゆず肌状 ・適用しない ・外装薄塗料 E (・吹付け ・ローラー塗り) ・ ・可とう形外装薄塗料 E ・さざ波状 ・ ・防水形外装薄塗料 E ・平たん状 ・ ・外装薄塗料 S ・凹凸状 ・ ・内装薄塗料 C (・吹付け ・こて塗り) ・ ・内装薄塗料 L ・着色骨材砂壁状 ・ ・内装薄塗料 S i (・吹付け ・こて塗り) ・ ・内装薄塗料 E ・砂壁状じゅらく ・ ・内装薄塗料 W ・京壁状じゅらく ・</p> <p>・厚付け仕上塗料 種類 (呼び名) 仕上げの形状・工法 吸放湿材 上塗材 防火材料 ・外装厚塗料 C ・吹出し ・適用する ・適用する ・外装厚塗料 S i ・凸部処理 ・適用しない ・適用しない ・外装厚塗料 E ・平たん状 ・ ・内装厚塗料 C (・こて塗り ・ローラー塗り) ・ ・内装厚塗料 L ・凹凸状 ・ ・内装厚塗料 G (・こて塗り ・ローラー塗り) ・ ・内装厚塗料 S i ・ひき起こし ・ ・内装厚塗料 E (・こて塗り ・ローラー塗り) ・ ・かき落とし</p>																																																	
<p>○ 複層仕上塗料</p> <table border="1"> <tr> <th>種類 (呼び名)</th> <th>仕上げの形状・工法</th> <th>上塗材の種類</th> <th>耐水性</th> <th>防火材料</th> </tr> <tr> <td>・複層塗料 C E</td> <td>○ゆず肌状 ○吹付け</td> <td>溶媒 ※水系</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・可とう形複層塗料 C E</td> <td>・凸部処理</td> <td>・</td> <td>※耐熱形 3種</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・複層塗料 S i</td> <td>・凹凸状</td> <td>樹脂</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・複層塗料 E</td> <td></td> <td>樹脂</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>○複層塗料 R E</td> <td></td> <td>※アクリル系</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・防水形複層塗料 C E</td> <td></td> <td>○シリコン系</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・防水形複層塗料 E</td> <td></td> <td>外観</td> <td>※つやあり</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・防水形複層塗料 R E</td> <td></td> <td></td> <td>・メタリック</td> <td>・</td> </tr> </table>					種類 (呼び名)	仕上げの形状・工法	上塗材の種類	耐水性	防火材料	・複層塗料 C E	○ゆず肌状 ○吹付け	溶媒 ※水系	・	・	・可とう形複層塗料 C E	・凸部処理	・	※耐熱形 3種	・	・複層塗料 S i	・凹凸状	樹脂	・	・	・複層塗料 E		樹脂	・	・	○複層塗料 R E		※アクリル系	・	・	・防水形複層塗料 C E		○シリコン系	・	・	・防水形複層塗料 E		外観	※つやあり	・	・防水形複層塗料 R E			・メタリック	・
種類 (呼び名)	仕上げの形状・工法	上塗材の種類	耐水性	防火材料																																													
・複層塗料 C E	○ゆず肌状 ○吹付け	溶媒 ※水系	・	・																																													
・可とう形複層塗料 C E	・凸部処理	・	※耐熱形 3種	・																																													
・複層塗料 S i	・凹凸状	樹脂	・	・																																													
・複層塗料 E		樹脂	・	・																																													
○複層塗料 R E		※アクリル系	・	・																																													
・防水形複層塗料 C E		○シリコン系	・	・																																													
・防水形複層塗料 E		外観	※つやあり	・																																													
・防水形複層塗料 R E			・メタリック	・																																													
<p>・ フッ素樹脂クリア仕上げ 低汚染型高耐久性</p> <p>(15.6.4)</p> <p>○ 軽量骨材仕上塗料 種類 (呼び名) 仕上げの形状・工法 防火材料 ・吹付け軽量塗料 砂壁状 ・ ・こて塗用軽量塗料 平たん状 ・</p>																																																	
<p>・ ALC パネルの場合の下地処理</p> <p>(15.7.2)</p> <p>種別 ・ A種 ・ B種</p>																																																	
<p>・ せっこうプラスター塗り</p> <p>(15.8.3)</p> <p>下塗り ・既調合プラスター (下塗り用) ・現場調合プラスター (下塗り用) 上塗り ・既調合プラスター (上塗り用) ・しっくい塗り</p>																																																	
<p>・ ロックウール吹付け</p> <p>(15.12.2, 3)</p> <p>ロックウールのホルムアルデヒド放散量 ※ 規制対象外 接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※ 規制対象外 仕上げ吹付け厚さ(mm) 図示 ・ 25</p>																																																	
<p>・ しっくい塗り</p> <p>(15.10.2, 3)</p> <p>しっくい ・現場調合材料 ※標準仕様書15.10.2(1) (7)による ・既調合材料 製造所 () 種類 ()</p> <p>下地 ※木ずり、こまい土壁塗り、せっこうラスボード、せっこうボード</p> <p>調合及び塗厚 ・木ずり下地の場合 ※標準仕様書表15.10.1 ・こまい土壁下地の場合 ※標準仕様書表15.10.2</p>																																																	

<p>・ こまじ壁塗り (15.11.2~5, 7, 8)</p> <p>のり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土壁用ののり ・ふのり ※つまた ・ぎんなんそう ・粉末海漆 ・砂壁用ののり ※つまた ・こんやくのり ・にかわ ・合成樹脂系薬剤 <p>色土</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土物仕上げに用いる色土の種類 () ・大津仕上げに用いる色土の種類 () <p>色砂の種類</p> <ul style="list-style-type: none"> ・天然砂と岩石の砕砂 ・人工的に着色・製造したもの <p>割合</p> <p>下塗りの割合</p> <p>※標準仕様書表15.11.2</p> <p>塗厚</p> <p>※標準仕様書表15.11.3による</p> <p>・建築基準法に基づく耐力壁の指定がある場合 ()</p> <p>工程 ※A種 ・ B種</p> <p>・土物仕上げ</p> <ul style="list-style-type: none"> 種類 ・土物仕上げ工法 ・水ごね土物1工法 ・水ごね土物2工法 ・のりさし土物工法 ・のりごね土物工法 ・砂壁仕上げ工法 ・切返し仕上げ工法 <p>・大津仕上げ</p> <ul style="list-style-type: none"> 種類 ・普通大津仕上げ工法 ・大津みがき仕上げ工法 	<p>◎ 鋼製建具 (16.2.2) (16.4.2~4) (表16.4.2)</p> <p>性能等級</p> <p>簡易気密型ドアセット</p> <ul style="list-style-type: none"> ・適用する (建具符号: ・ 建具表による) ○ 適用しない <p>外部に面する建具の耐風圧性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・S-4 (建具符号: ・ 建具表による) ○ S-5 (建具符号: ○ 建具表による) ・S-6 (建具符号: ・ 建具表による) <p>防音ドア, 防音サッシ</p> <p>遮音性の等級 (T-3)</p> <p>(建具符号: ○ 建具表による)</p> <p>断熱ドア, 断熱サッシ</p> <p>断熱性の等級 (・)</p> <p>(建具符号: ・ 建具表による)</p> <p>耐震ドア</p> <p>面内変形追随性の等級 (・)</p> <p>(建具符号: ・ 建具表による)</p> <p>ステンレス鋼板</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ※SUS304, SUS430J1L, 又はSUS443J1 <p>鋼板類の厚さ</p> <p>※標準仕様書表16.4.2による</p> <p>◎ 鋼製軽量建具 (16.2.2) (16.5.2~4)</p> <p>性能等級</p> <p>簡易気密型ドアセット</p> <ul style="list-style-type: none"> ・適用する (建具符号: ・ 建具表による) ○ 適用しない <p>防音ドア, 防音サッシ</p> <p>遮音性の等級 (・)</p> <p>(建具符号: ・ 建具表による)</p> <p>断熱ドア, 断熱サッシ</p> <p>断熱性の等級 (・)</p> <p>(建具符号: ・ 建具表による)</p> <p>耐震ドア</p> <p>面内変形追随性の等級 (・)</p> <p>(建具符号: ・ 建具表による)</p> <p>材料 鋼板 ○ 亜鉛めっき鋼板 ・ ビニル被覆鋼板 ・ カラー鋼板 ・ ステンレス鋼板</p> <p>ステンレス鋼板</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ※SUS304, SUS430J1L, 又はSUS443J1 <p>鋼板類の厚さ (mm)</p> <p>使用箇所 ()</p> <p>※標準仕様書表16.5.1による</p> <p>召合せ, 縦小口包み板の材質</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ※鋼板 <p>◎ ステンレス製建具 (16.2.2) (16.4.2) (16.6.2~5)</p> <p>性能等級</p> <p>簡易気密型ドアセット</p> <ul style="list-style-type: none"> ・適用する (建具符号: ・ 建具表による) ・適用しない <p>外部に面する建具の耐風圧性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・S-4 (建具符号: ・ 建具表による) ・S-5 (建具符号: ・ 建具表による) ・S-6 (建具符号: ・ 建具表による) <p>防音ドア, 防音サッシ</p> <p>遮音性の等級 (・)</p> <p>(建具符号: ・ 建具表による)</p> <p>断熱ドア, 断熱サッシ</p> <p>断熱性の等級 (・)</p> <p>(建具符号: ・ 建具表による)</p> <p>耐震ドア</p> <p>面内変形追随性の等級 (・)</p> <p>(建具符号: ・ 建具表による)</p> <p>ステンレス鋼板</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ※SUS304, SUS430J1L, 又はSUS443J1 <p>表面仕上げ ※HL</p> <p>・ 鏡面仕上げ</p> <p>ステンレス鋼板の曲げ加工 ※普通曲げ</p> <p>・ 角出し曲げ</p> <p>◎ 木製建具 (16.7.2~4)</p> <p>建具材の加工, 組立時の含水率 ※B種</p> <p>建物内部の木製建具に使用する表面材及び接着剤のホルムアルデヒド放散量</p> <p>※規制対象外</p> <p>・フラッシュ戸</p> <p>表面材の合板の種類</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>合板の種類</th> <th>規格等</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・普通合板G</td> <td>表面の樹種 生地, 透明塗料塗り (※カッ程度)</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>不透明塗料塗り (※しな程度)</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>板面の品質 ()</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>接着の程度 (・1類 ・2類)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・天然木 化粧合板G</td> <td>樹種名 ()</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>接着の程度 (・1類 ・2類)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・特殊加工 化粧合板G</td> <td>化粧加工の方法 (・オパール・アクリル・塗装)</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>表面性能 () タイプ</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>接着の程度 (・1類 ・2類)</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>表面材の厚さ ※表16.7.6による</p> <ul style="list-style-type: none"> ・かまち戸 かまち樹種 () 鏡板樹種 () 見込み寸法 ※36mm ・建具表による ・ふすま 張りの種類 (・I型 ・II型) 上張り (押入等の裏側以外) ・鳥の子 ・新鳥の子又はビニル紙程度 襷仕上げ ・塗り漆 ・生地漆 (漆地) ・生地漆 (ウレタンリキヤー塗装) 見込み寸法 ※19.5mm ・建具表による ・戸ふすま 見込み寸法 ※30mm ・建具表による ・紙張り障子 見込み寸法 ※30mm ・建具表による <p>枠, くつずりの材料</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建具表による 	合板の種類	規格等	備考	・普通合板G	表面の樹種 生地, 透明塗料塗り (※カッ程度)			不透明塗料塗り (※しな程度)			板面の品質 ()			接着の程度 (・1類 ・2類)		・天然木 化粧合板G	樹種名 ()			接着の程度 (・1類 ・2類)		・特殊加工 化粧合板G	化粧加工の方法 (・オパール・アクリル・塗装)			表面性能 () タイプ			接着の程度 (・1類 ・2類)		<p>◎ 建具用金物 (16.8.2, 3) (表 16.8.1)</p> <p>金物の種類及び見え掛り部の材質等</p> <p>※標準仕様書表16.8.1により適用は建具表による</p> <p>金属性建具に使用する丁番の枚数及び大きさ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建具表による <p>※標準仕様書表16.8.2</p> <p>樹脂製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建具表による <p>※標準仕様書表16.8.3による</p> <p>木性建具に使用する丁番の枚数及び大きさ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建具表による <p>※標準仕様書表16.8.4</p> <p>木性建具に使用する戸車及びレール</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建具表による <p>※標準仕様書表16.8.5による</p> <p>握り玉及びレバーハンドル, 押板類, クレセントの取付け位置</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建具表による <p>◎ 錠前類 (シリンダ錠錠及びシリンダ本錠まり錠)</p> <p>(品質)</p> <p>テッドボルトの出寸法は17mm以上とする。</p> <p>鍵付きのものはマスターキー, グランドマスターキー, コンストラクションキーなどのキーシステムが構築できるものとする。</p> <p>(性能)</p> <p>製造所の仕様による</p> <p>◎ 錠前類 (レバーハンドル)</p> <p>(性能)</p> <p>製造所の仕様による</p> <p>◎ クローザ類</p> <p>(品質・性能・試験方法)</p> <p>製造所の仕様による</p> <p>◎ 錠前類 (ケースハンドル)</p> <p>UCH110 (株) ユニオン 同等品以上</p> <p>◎ 鍵 (16.8.4)</p> <p>マスターキー</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎ 製作する ・ 製作しない <p>鍵の製作本数</p> <ul style="list-style-type: none"> ※各室3本1組 (室名札付付) ・ 鍵筒 ※有り ・ 無し <p>◎ 自動ドア開閉装置 (16.9.2, 3)</p> <p>・引き戸用駆動装置</p> <p>性能値</p> <p>※標準仕様書表16.9.1</p> <ul style="list-style-type: none"> ・種類 ・開閉方式 () ・耐電圧 () ・温度上昇 () ・耐久性 (サイクル) () ・防錆 () ・電源 () <p>・多機能トイレ出入り口引き戸用駆動装置</p> <p>性能値</p> <p>※標準仕様書表16.9.2</p> <ul style="list-style-type: none"> ・耐電圧 () ・温度上昇 () ・耐久性 (サイクル) () ・防錆 () ・電源 () <p>・引き戸用検出装置</p> <p>性能値</p> <p>※標準仕様書表16.9.3</p> <ul style="list-style-type: none"> ・耐電圧 () ・防錆 () ・防滴 () ・電源 () <p>戸の開閉方式</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建具表による <p>引き戸用検出装置の種類</p> <p>標準仕様書表16.9.4</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建具表による <p>凍結防止措置</p> <ul style="list-style-type: none"> ・適用する ・適用しない <p>◎ 自閉式上吊り引戸装置 (16.10.3) (表16.10.1)</p> <p>性能値等 ※ (表16.10.1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・手動開き力 () ・手動閉じ力 () ・閉じ速度の調整 () ・制動区間 () ・開閉繰返し () ・耐衝撃性 () ・試験方法 製造所の仕様による <p>◎ 重量シャッター (16.11.2, 3)</p> <p>シャッターの種類</p> <ul style="list-style-type: none"> ・管理用シャッター ・外壁用防火シャッター ・屋内用防火シャッター ・屋内用防煙シャッター <p>開閉方式の種類</p> <ul style="list-style-type: none"> ※ 上部電動式 (手動併用) ・ 上部手動式 二重チェーン, 急降下制動装置, 急降下停止装置を設けた電動シャッターの設置箇所 ・ 図示 <p>障害物感知装置を設けた電動シャッターの設置箇所</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 図示 <p>屋内用防火シャッター若しくは防煙シャッターの危害防止機構</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 設ける (設置箇所 図示) ・ 設けない <p>「防火区画に用いる防火設備等の構造方法を定める件」(昭和48年12月28日建設省告示第2563号)に定める基準に適合するもの</p> <ul style="list-style-type: none"> ※障害物感知装置 (自動閉鎖型) ・ 可動座板式 ・ 設けない <p>管理用シャッターのシャッターケース</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 設ける ・ 設けない <p>スラット及びシャッターケース用鋼板</p> <p>鋼板の種類</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ JIS G 3302 (溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯) ・ JIS G 3312 (溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯) めっきの付着量 ※Z12又はF12 	<p>◎ 軽量シャッター (16.12.2~4)</p> <p>開閉方式の種類</p> <ul style="list-style-type: none"> ※手動式 ・ 上部電動式 (手動併用) <p>耐風圧強度 () N/m²</p> <p>スラットの材質の種類</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ JIS G 3312 (溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯) めっきの付着量 (※Z06又はF06) ・) ・ JIS G 3322 (溶融亜鉛55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯) めっきの付着量 (※AZ90) ・) <p>スラットの形状</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ インターロッキング形 ・ オーバーラッピング形 <p>◎ オーバーヘッドドア (16.13.2, 3)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>セクション材料による区分</th> <th>耐風圧性能 (Pa)</th> <th>開閉方式による区分</th> <th>収納形式による区分</th> <th>ガイドレールの材料</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>※スチールタイプ</td> <td>・ 125 (1250)</td> <td>※バランス式</td> <td>・ スタンダード形</td> <td>※溶融亜鉛めっき鋼板</td> </tr> <tr> <td>・ アルミニウムタイプ</td> <td>・ 100 (1000)</td> <td>・ チェーン式</td> <td>・ ローヘッド形</td> <td>めっき鋼板</td> </tr> <tr> <td>・ ファイバーグラスタイプ</td> <td>・ 75 (750)</td> <td>・ 電動式</td> <td>・ ハイリフト形</td> <td>・ ステンレス鋼板</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ 50 (500)</td> <td></td> <td>・ パーチカル形</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>◎ ガラス (9.7) (16.14.2~4) (表16.14.1)</p> <p>◎ フロートガラスの品種及び厚さの呼びによる種類</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎ 建具表による <p>◎ 型板ガラスの厚さによる種類</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎ 建具表による <p>◎ 網入板ガラス及び網入板ガラスの網又は線の形状, 板の表面の状態及び厚さの呼びによる種類</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎ 建具表による <p>◎ 合わせガラス</p> <p>材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに合わせガラスの合計厚さ</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎ 建具表による 形状による種類 ◎ 平面合わせガラス ・ 曲面合わせガラス ・ 半球衝撃に難特性並びにショットバック衝撃特性による種類 ・ I類 ・ II-1類 ・ II-2類 ・ III類 <p>◎ 強化ガラス</p> <p>形状による種類, 材料板ガラスの種類による名称</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎ 建具表による 破片の状態及びショットバック衝撃特性による種類 ・ I類 ・ III類 <p>・ 熱線吸収板ガラス</p> <p>板ガラスによる種類, 厚さによる種類</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 建具表による 性能による種類 ・ 1種 ・ 2種 <p>◎ 複層ガラス</p> <p>材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに複層ガラスの厚さ</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎ 建具表による 断熱性による区分 ・ T1 ・ T2 ・ T3 ・ T4 ・ T5 ・ T6 <p>日射取得性, 日射遮蔽性による区分</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎ G ◎ S <p>乾燥気体の種類</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎ 空気 ・ アルゴン <p>・ 熱線反射ガラス</p> <p>材料板ガラスの種類及び厚さによる種類</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 建具表による 日射熱透過率による区分 ・ 1種 ・ 2種 ・ 3種 <p>耐久性による区分 (日射熱遮蔽性による区分が2種の場合)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ A類 ・ B類 映像調整 ・ 行わない ・ 行う <p>・ 倍強度ガラス</p> <p>材料板ガラスの種類及び厚さによる種類</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 建具表による <p>ガラスの留め材及び溝の大きさ</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>建具の種類</th> <th>ガラス留め材</th> <th>ガラス溝の大きさ (mm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>アルミニウム製</td> <td>◎ シーリング材</td> <td>◎ 図示</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ ガasket</td> <td>・ 建具の製造所の仕様による</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ グレージングチャンネル</td> <td></td> </tr> <tr> <td>鋼製及び鋼製軽量</td> <td>◎ シーリング材</td> <td>◎ 図示</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ 建具の製造所の仕様による</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ステンレス製</td> <td>◎ シーリング材</td> <td>◎ 図示</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ 建具の製造所の仕様による</td> <td></td> </tr> <tr> <td>樹脂製</td> <td>・ シーリング材</td> <td>・ 図示</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ ガasket</td> <td>・ 建具の製造所の仕様による</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ グレージングチャンネル</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	セクション材料による区分	耐風圧性能 (Pa)	開閉方式による区分	収納形式による区分	ガイドレールの材料	※スチールタイプ	・ 125 (1250)	※バランス式	・ スタンダード形	※溶融亜鉛めっき鋼板	・ アルミニウムタイプ	・ 100 (1000)	・ チェーン式	・ ローヘッド形	めっき鋼板	・ ファイバーグラスタイプ	・ 75 (750)	・ 電動式	・ ハイリフト形	・ ステンレス鋼板		・ 50 (500)		・ パーチカル形		建具の種類	ガラス留め材	ガラス溝の大きさ (mm)	アルミニウム製	◎ シーリング材	◎ 図示		・ ガasket	・ 建具の製造所の仕様による		・ グレージングチャンネル		鋼製及び鋼製軽量	◎ シーリング材	◎ 図示		・ 建具の製造所の仕様による		ステンレス製	◎ シーリング材	◎ 図示		・ 建具の製造所の仕様による		樹脂製	・ シーリング材	・ 図示		・ ガasket	・ 建具の製造所の仕様による		・ グレージングチャンネル	
		合板の種類	規格等	備考																																																																																							
・普通合板G	表面の樹種 生地, 透明塗料塗り (※カッ程度)																																																																																										
	不透明塗料塗り (※しな程度)																																																																																										
	板面の品質 ()																																																																																										
	接着の程度 (・1類 ・2類)																																																																																										
・天然木 化粧合板G	樹種名 ()																																																																																										
	接着の程度 (・1類 ・2類)																																																																																										
・特殊加工 化粧合板G	化粧加工の方法 (・オパール・アクリル・塗装)																																																																																										
	表面性能 () タイプ																																																																																										
	接着の程度 (・1類 ・2類)																																																																																										
セクション材料による区分	耐風圧性能 (Pa)	開閉方式による区分	収納形式による区分	ガイドレールの材料																																																																																							
※スチールタイプ	・ 125 (1250)	※バランス式	・ スタンダード形	※溶融亜鉛めっき鋼板																																																																																							
・ アルミニウムタイプ	・ 100 (1000)	・ チェーン式	・ ローヘッド形	めっき鋼板																																																																																							
・ ファイバーグラスタイプ	・ 75 (750)	・ 電動式	・ ハイリフト形	・ ステンレス鋼板																																																																																							
	・ 50 (500)		・ パーチカル形																																																																																								
建具の種類	ガラス留め材	ガラス溝の大きさ (mm)																																																																																									
アルミニウム製	◎ シーリング材	◎ 図示																																																																																									
	・ ガasket	・ 建具の製造所の仕様による																																																																																									
	・ グレージングチャンネル																																																																																										
鋼製及び鋼製軽量	◎ シーリング材	◎ 図示																																																																																									
	・ 建具の製造所の仕様による																																																																																										
ステンレス製	◎ シーリング材	◎ 図示																																																																																									
	・ 建具の製造所の仕様による																																																																																										
樹脂製	・ シーリング材	・ 図示																																																																																									
	・ ガasket	・ 建具の製造所の仕様による																																																																																									
	・ グレージングチャンネル																																																																																										
<p>◎ 防火戸 (16.1.3)</p> <p>◎ 見本の製作等 (16.1.4)</p> <p>建具見本の製作</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 行う (建具符号:) ○ 行わない <p>建具見本の程度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 工事に使用するものとして, あらかじめ製作する ・ 納まり等が分かる程度のもの <p>特殊な建具の仮組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 行う (建具符号:) ・ 行わない <p>◎ 防犯建物部品 (16.1.6)</p> <p>◎ アルミニウム製建具 (16.2.2, 4, 5) (表16.2.1)</p> <p>性能等級</p> <p>耐風圧性の等級 (S-3)</p> <p>気密性の等級 (A-4)</p> <p>水密性の等級 (H-5)</p> <p>外部に面する建具の種類</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ A種 (建具符号: ・ 建具表による) ○ B種 (建具符号: ○ 建具表による) ・ C種 (建具符号: ・ 建具表による) ・ D種 (建具符号: ・ 建具表による) ・ E種 (建具符号: ・ 建具表による) <p>防音ドア, 防音サッシ</p> <p>遮音性の等級 (・)</p> <p>(建具符号: ・ 建具表による)</p> <p>断熱ドア, 断熱サッシ</p> <p>断熱性の等級 (・)</p> <p>(建具符号: ・ 建具表による)</p> <p>耐震ドア</p> <p>面内変形追随性の等級 (・)</p> <p>(建具符号: ・ 建具表による)</p> <p>ステンレス鋼板</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ※SUS304, SUS430J1L, 又はSUS443J1 <p>枠の見込み寸法</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎ 建具表による <p>表面処理</p> <p>外部に面する建具</p> <ul style="list-style-type: none"> 種類 ○ BB-1 ・ BB-2 (標準仕様書表14.2.1) 着色 ○ 標準色 ・ 特注色 <p>屋内の建具</p> <ul style="list-style-type: none"> 種類 ○ BC-1 ・ BC-2 (標準仕様書表14.2.1) 着色 ○ 標準色 ・ 特注色 <p>結露水の処理方法 ※図示</p> <p>水切り板, ぜん板 ※図示</p> <p>◎ 網戸等 (16.2.3)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>材質</th> <th>線径</th> <th>網目</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>◎ 防虫網</td> <td>※合成樹脂製</td> <td>※0.25mm以上</td> <td>※16~18メッシュ</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ ガラス繊維入り合成樹脂製</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ ステンレス (SUS316) 製</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 防鳥網</td> <td>ステンレス (SUS304) 線材</td> <td>1.5mm</td> <td>網目寸法15mm</td> </tr> </tbody> </table> <p>◎ 樹脂製建具 (16.2.5) (16.3.2~5) (表16.31.)</p> <p>性能等級</p> <p>性能等級</p> <p>耐風圧性の等級 ()</p> <p>気密性の等級 ()</p> <p>水密性の等級 ()</p> <p>外部に面する建具</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ A種 (建具符号: ・ 建具表による) ・ B種 (建具符号: ・ 建具表による) ・ C種 (建具符号: ・ 建具表による) ・ D種 (建具符号: ・ 建具表による) ・ E種 (建具符号: ・ 建具表による) <p>防音ドア, 防音サッシ</p> <p>遮音性の等級 (T-1 ・ T-2)</p> <p>(建具符号: ・ 建具表による)</p> <p>断熱ドア, 断熱サッシ</p> <p>断熱性の等級 (H-4 ・ H-5 ・ H-6)</p> <p>(建具符号: ・ 建具表による)</p>	種類	材質	線径	網目	◎ 防虫網	※合成樹脂製	※0.25mm以上	※16~18メッシュ		・ ガラス繊維入り合成樹脂製				・ ステンレス (SUS316) 製			・ 防鳥網	ステンレス (SUS304) 線材	1.5mm	網目寸法15mm																																																																							
種類	材質	線径	網目																																																																																								
◎ 防虫網	※合成樹脂製	※0.25mm以上	※16~18メッシュ																																																																																								
	・ ガラス繊維入り合成樹脂製																																																																																										
	・ ステンレス (SUS316) 製																																																																																										
・ 防鳥網	ステンレス (SUS304) 線材	1.5mm	網目寸法15mm																																																																																								

16 建具工事

ガラスブロック (16.14.5)

表面形状	呼び寸法	厚さ	色調	目地幅(mm)	伸縮調整目地位置(mm)	防火性能
・正方形	125×125	80	乳白	※8~15	外側	※無し・有り
	160×160	95	平積み	15~25	※15以下	
	200×200	95	平積み	15~25	※15以下	
	320×320	95	平積み	15~25	※15以下	
・長方形	250×125	80	平積み	15~25	※15以下	※無し・有り
	320×160	95	平積み	15~25	※15以下	

曲面積の曲率半径は、ガラスブロックの幅寸法の10倍以上とする。
壁用金属枠及び補強材 ※図示

力骨 材質 ・ ※ステンレス鋼(SUS304)
寸法 ・ ※径5.5mm
形状 ・ ※はしご形状複筋及び単筋

化粧目地モルタルの色()
金属製化粧カバー 材質 ・ ステンレス製 ・ アルミニウム製
寸法 ※図示
形状 ※図示

工法
建築基準法に基づき定まる風圧力の(・1・1.15・1.3)倍の風圧力に対応した工法
目地部の横力骨の納まり
・ 図示 ※ガラスブロック製造所の仕様による

取付方法、性能等 (17.1.3) (17.2.2) (17.3.2)

取付方法 ・ 層間方式 ・ 柱・梁方式 ・ 方立方式 ・ スパンドレル方式
性能

耐震性	水密性	気密性	遮音性	断熱性	耐火性	耐温度差性(°C)
水平方向(KH) 垂直方向(KV)						
・1.0	・0.5	・1000Pa	・A-4		・30分 ・1時間	・80 ・70 ・60

耐風圧性
建築基準法に基づき定まる風圧力の(・1・1.15・1.3)倍の風圧力に対応した工法
耐風圧性の等級(・S-3)

主要部材の耐風圧性能(ガラスを除く)

支間距離(L) 耐風圧性能
4m以下
・たわみ量が±(1/150)×hかつ絶対量20mm以下であること

4mを超える

層間変位係数
建築物の構造種別 層間変位量(h=支間距離)

鉄骨造

鉄筋コンクリート造
鉄骨鉄筋コンクリート造

構造用ガasket
・適用する(施工箇所・図示)
材質 ・ クロロレン系 ・ EPDM系 ・ シリコーン系
形状 ・ H型 ・ Y型 ・ C型
寸法(mm) ガラス板厚()、支持棒の厚さ()、ウェブの寸法()
・適用しない

断熱材(図)
種類()
厚さ(mm)()
施工箇所・図示

耐火材料
施工部位 種別 規格等

施工部位	種別	規格等
・ファスナー部		
・取付けブラケット		
・パネル目地部		
・層間ふさぎ		

金属材料カーテンウォール (17.2.2、3、5)

金属材料の種類
・アルミニウム材 ・ 鋼材 ・ ステンレス鋼材
(アルミニウム材の場合)
規格等 標準仕様書16.2.3による
種別 ・ BB-1 (標準仕様書表14.2.1)
着色 ・ 標準色 ・ 特注色
映像調整 ・ 行方 ・ 行わない

形状及び仕上げ
製品の寸法許容差 ※標準仕様書表17.2.1による
見え掛かり部の仕上げ
ガラス溝の寸法、形状等 ※カーテンウォールの製造所の仕様

取付け
躯体付金物の取付け位置の寸法許容差
鉛直方向 ±10mm
水平方向 ±25mm

カーテンウォール部材の取付け位置の寸法許容差
目地の幅 ±3
目地の心の通り ±2
目地両側の厚さ ±2
各階の基準層から各部材までの距離 ±3

PCカーテンウォール (17.3.2~5) (表17.3.1、2)

シリーング材の種類
・ 図示による
ガラスの取付け材料
・ シリーング
種類 ・ 図示による
・ 構造ガasket
形状・寸法等 ・ 図示による

断熱材(図)
種類 ()

材料 (17.3.2~5) (表17.3.1、2)
コンクリート 種類 ()
品質 設計基準強度(Fc) ※ 30N/mm2
スラブ厚 ※ 12cm
気乾単位容積質量
・ 普通コンクリートの場合
2.1t/m3を超え2.5t/m3以下
単位水量の最大値 ※185kg/m3

鉄筋 種類の記号 ※SD295A ()
補強鉄線 径(mm) ・3.2 ・4.0 ・5.0 ・6.0
網目寸法

シリーング材の種類
耐火目地材
断熱材(図)
種類 ()

ガラスの取付け材料
・ シリーング
種類
・ 構造ガasket
形状・寸法等 ・ 図示による

先付けの材料
・ 表面仕上材
・ 磁器質タイル
・ 石材(・花こう岩 ・ 大理石)

・ 遮具材
・ ゴンドラ用ガイドレール
形状及び仕上げ
製品の見え掛り部の寸法許容差
・ 辺長 mm 対角線長の差 mm 版厚 mm
開口部内法寸法 mm 凹凸、そり
曲がり mm 面の凹凸 mm 先付け金物の位置 mm

カーテンウォールの仕上げ
構造ガasketを用いる場合のアンカー溝の寸法及び寸法許容差(mm)
・ 躯体取付金物の取付け位置の寸法許容差 ※標準仕様書表17.3.2による

材料 (18.1.3)

屋内で使用する塗料のホルムアルデヒド放数量 ※規制対象外
○防火材料 ※屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする。
・ 次の箇所を除き防火材料とする。(箇所)

下地等 種別

下部	不透明塗料塗りの場合	透明塗料塗りの場合
鉄鋼面	※A種・B種	※B種・A種
亜鉛めっき鋼面	※C種・A種	※B種・A種
モルタル面及びプラスター面	※B種・A種	※B種・A種
コンクリート面(OP以外)及びALCパネル面	※B種・A種	※B種・A種
押出成形セメント板面	※A種・B種	※A種・B種
せっこうボード面及びその他目地：継目処理工法	※A種・B種	※A種・B種
ボード面	目地：継目処理工法以外	※B種・A種

下地等 工程の種別 塗料の種別

見え掛り部分	見え隠れ部分	工程の種別	塗料の種別
鉄鋼面	鉄鋼面	※A種・B種	※A種・B種 EP-G(図内)の場合 ※B種・A種
亜鉛めっき鋼面	鋼製器具等	※A種・B種	※A種・B種
	鋼製器具等以外	※B種・A種	※B種・A種 (EP-Gの場合C種)

塗装 (18.4.1~18.4.2)

塗装	種別	塗料の種類	高日射反射率塗料の適用(図)
○合成樹脂調合ペイント(木部屋外)	※A種・B種	※1種・2種	○
リ(SOP)	木部屋外	※B種・A種	※1種・2種
	鉄鋼面	※B種・A種	※1種・2種
	亜鉛めっき鋼面	—	※1種・2種
・クリヤラック塗り(OL)	鉄鋼面	※B種・A種	—
・アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り(NAD)	鉄鋼面	—	—
○耐候性塗料塗り(OP)	鉄鋼面	—	上塗り塗料の等級()級
	亜鉛めっき鋼面	—	上塗り塗料の等級()級
○つや有合成樹脂エマルジョン面等、モルタル面、	※B種・A種	—	—
シオンペイント塗り(EP-G)	プラスター面、せっこう	※B種・A種	—
	ター面、せっこうボード面、その他	※B種・A種	—
	屋内の鉄鋼面	※B種・A種	—
・合成樹脂エマルジョンペイント塗り(EP)	※B種・A種	—	—
・合成樹脂エマルジョン模様塗料塗り(EP-T)	※B種・A種	—	—
○ウレタン樹脂フニス塗り(UC)	※B種・A種	—	—
・オイルステイン塗り(OS)	塗料	—	—
	・水性・油性	—	—
・木材保護塗料塗り(PP)	※B種・A種	—	—

高日射反射率塗料(図)を適用する場合の適用箇所は屋上、屋根面の金属面とする

抗菌塗料塗り (11.2.2)

抗菌性塗料の製造所・製品名及びつやの程度等
()
()
()

接着剤 (19.2.2)
接着剤のホルムアルデヒド放数量 ※規制対象外
接着剤は可塑剤(難揮発性の可塑剤を除く)が添付されていないものとする
施工箇所の下地がセメント系下地及び木質系下地以外の場合の接着剤の種別
・ 図示

ビニル床シート(図) (19.2.2、3)

種類の記号	色柄	厚さ(mm)	備考
※FS (複層ビニル床シート)	○無地 ○ナット柄 ○柄物	※ 2.0	VS-1、VS-2、VS-3、VS-5

目地処理する場合の工法
○熱溶接工法

種類の記号	色柄	寸法(mm)	厚さ(mm)	備考
・FT (単層ビニル床シート)	・無地 ・柄物	・300×300 ・450×450	・2.0 ・	
・FT (複層ビニル床シート)	・無地 ・柄物 (木目調)	・300×300 ・450×450 ・150×914.4	・2.0 ・2.5 ・3.0	
※KT (複層ビニル床シート)	・無地 ・柄物	・300×300 ・450×450	・2.0 ・3.0	
○FOA (複層ビニル床シート)	○無地 ○柄物	○500×500	○4.0 ○5.0	VT-1
・FOB (薄型複層ビニル床シート)	・無地 ・柄物	・	・	

○特殊機能床 (19.2.2)

○帯電防止床タイル (VT-1と図示)
種類 (FOA)
性能 (OAフロア用)
寸法 厚さ (500×500 5.0mm)

○視覚障害者用床タイル
視覚障害者誘導用ブロック等の突起の形状・寸法及びその配列はJIS T 9251による
種類 (TT)
形状 (300×300 7.0mm)

○耐動荷重性床シート
種類 (FS (JISA5705))
厚さ (VS-4:2.0mm)

○防滑性床シート
種類 (FS)
厚さ (VS-3:2.0mm、VS-5:2.5mm)
・ 防滑性床タイル
種類 ()
寸法 厚さ (x mm)

○ビニル幅木 (19.2.2)
材質の種類 ○軟質 ・ 硬質
高さ(mm) ※60 ・ 70 ・ 100
厚さ(mm) ・ ※1.5以上

○ビニル床シート、ビニル床タイル及びゴム床タイル張り

材質	種類	色柄	厚さ	工法	製品名(製造所)	施工箇所
VS-1	ビニル床シート一般用	発泡層のないものFS	2.0mm	熱溶接	スリュード・アレン バー・アレン フル・アレン フル・アレン 同等品以上	一般
VS-2	ビニル床シート防汚性	発泡層のないものFS	2.0mm	熱溶接	消臭スリュード 消臭カメフラ 消臭NS1700 同等品以上	便所
VS-3	ビニル床シート防滑性	発泡層のないものFS	2.0mm	熱溶接	ロウアEB SRP-12800 フロア・アレン 同等品以上	手洗い コーナー
VS-4	ビニル床シート耐動荷重性	発泡層のないものFS	2.0mm	熱溶接	ロウア SRG-UV SF7070 アビマス 同等品以上	配膳室
VS-5	ビニル床シート防滑性	発泡層のないものFS	2.5mm	熱溶接	PK-600の・アレン ビュ・アレン NS1700 同等品以上	A階段屋上 出入口

○ビニル床タイル
種類 ・ 単層品 ・ 複層品
色柄 ()
厚さ(mm) ・ 3.0 ・ 4.5 ・ 6.0 ・ 9.0
寸法(mm) ()

○カーペット敷き(図) (19.3.3、4) (表 19.3.1)

・ 織じゅうたん
織り方 バイル形状
・ ウィルトンカーペット ・ カットバイル
・ ダブルフェースカーペット ・ ループバイル
・ アキスミンスターカーペット ・ カット/ループバイル

色柄 () ※模様のない無地
・ バイル系の種類等
※無地の織りじゅうたんの種別 (・A種 ・ B種 ・ C種)

帯電性 ・ 適用する ・ 適用しない

織じゅうたんの接合方法 ※ヒートボンド工法
下敷き材 ※反毛フェルト (JIS L 3204) の第2種2号 呼び厚さ 8mm

・ タフテッドカーペット
バイル形状 h(巾長さ) (mm) 工法 帯電性 備考
・ カットバイル ・ 5~7 ・ 全面接着工法 ・ 適用する
・ ループバイル ・ 4~6 ・ グリッター ・
・ カット、ループ併用 ・ 工法 ・ 適用しない

下敷き材(グリッター工法の場合)
※反毛フェルト (JIS L 3204) の第2種2号 呼び厚さ 8mm

・ ニードルパンチカーペット
厚さ ()
帯電性 ・ 適用する
・ 適用しない
備考 ()

○タイルカーペット
バイルの形状 種類 施工箇所 寸法 (mm) 総厚さ (mm) 備考
※ ループバイル ※ 第一種 放送室 ※ 500×500 ※ 6.5
・ カットバイル ・ 第一種 ※ 500×500 ※ 6.5
・ カット・ループ併用 ・ 第一種 ※ 500×500 ※ 6.5
・ 第二種

タイルカーペットの敷き方 平場 ※市松敷き ・ 横線流し
階段部分 ※横線流し ・ 市松敷き

製品名(製造所) 社名
GA-100S
EGOS LP3000
同等品以上

見切り、押え金物
材質 ()
種類 ()
形状等 ※図示

(19.4.2) (19.4.3) (表19.4.4、5)

種別	施工箇所	工法	仕上げの種類
・ 厚膜型塗床材 弾性付樹脂系塗床材			※平滑仕上げ ・ 防汚仕上げ ・ つや消し仕上げ
・ 厚膜型塗床材 EPA樹脂系塗床材		・ 薄膜流し厚べ工法 ・ 厚膜流し厚べ工法 ・ 樹脂砂り工法	・ 平滑仕上げ ・ 防汚仕上げ
○薄膜型塗床材	OA用防塵塗料塗り		※平滑仕上げ
○薄膜型塗床材	防塵塗料塗り	ユニオン工法	※平滑仕上げ

塗料のホルムアルデヒド放数量 ※規制対象外

○OA用防塵塗料 製品名(製造所) 社名
社名
・ 同等品以上

○防塵塗料塗り：製品名(製造所) 社名
社名
・ 同等品以上

○単層フローリング (フローリングボード1等) (19.5.2~6) (表 19.5.1~5)
工法 ・ 釘留め工法 (・ 根太張り ・ 直張り)
・ 接着工法
・ 接着工法 ※ なら
間伐材等の適用 ・ 適用する ・ 適用しない

○単層フローリング (フローリングブロック1等)
仕様
厚さ
大きさ
間伐材等の適用 ・ 適用する ・ 適用しない

○複合フローリング
工法 ○釘留め工法 (・ 根太張り ○直張り)
・ 接着工法
仕様 ※ なら
種別 ○A種 ・ B種 ・ C種
間伐材等の適用 ○適用する ・ 適用しない

製品名(製造所) グランドフローリング、樹脂：カバ
表面2mm GCαコート (塗装品)
同等品以上

フローリング及び接着剤のホルムアルデヒドの放数量 ※規制対象外
接着工法の場合の裏面緩衝材 ※合成樹脂発泡シート

・ 現場塗装仕上げ
※ウレタン樹脂フニス塗り
・ オイルステインの上、ワックス塗り
・ 生地のままワックス塗り (19.6.2) (表 19.6.1)

種別 ・ A種 ・ B種 ・ C種 ○D種 (塗床：・KT-I○KT-II・KT-III・KT-K・KT-N)
下地の種類 ・ 標準仕様書 表12.6.1による床組
・ ポリスチレンフォーム床下地 (ノンフロング)
・ 図示

量床及び量床はホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発生しないか、発散が極めて少ない材料を使用したものとする。

17カーテンウォール工事

19内装工事

18塗装工事

○ せっこうボード、その他のボード及び合板張り (19.7.2, 3) (表 19.7.1) 合板類、MDF及びパーティクルボード、接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外

種類等	厚さ(mm)、規格等
・木質系セメント板	・ 15 ・ 20 ・ 25
・木毛セメント板	・ 12 ・ 15 ・ 18 ・ 21 ・ 30
・繊維板	・ 3 ・ 7 ・ 9 ・ 12
・ MDF (普通)	・ ハードボード (兼地)
・ ハードボード (化粧)	・ 内装用 D I ・ 外装用 D E
・ インシュレーションボード	A 種 (天井仕上げ) ・ 内装仕上げ
・パーティクルボード	・ 単板張りパーティクルボード
・化粧パーティクルボード	・ 化粧パーティクルボード
・吸音材料	・ ロックウール化粧吸音板
○ せっこうボード	○ せっこうボード
○ シーリングせっこうボード	○ 強化せっこうボード
○ せっこうラスボード	○ 化粧せっこうボード
○ 普通硬質せっこうボード	○ 普通合板
○ 天然木化粧合板	○ 特殊加工化粧合板
○ けい酸カルシウム板 (タイプ 2)	○ けい酸カルシウム板 (化粧0.8FK)
○ メラミン樹脂化粧板	○ ポリエステル樹脂化粧板

せっこうボード等の下地は図示による。

遮音シール材 ○適用する ○シーリング材 ・ジョイントコンパウンド) ・適用しない

合板類の張付け ※B種 ・A種

せっこうボードの目地工法 ・仕上げによる ○図示

○ 化粧張り (19.8.2, 3) ホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外

施工箇所	紙	繊維	アラ	無機質	その他	防火性能	備考
掲示用クロス						・不燃 ・準不燃	スポンジエース (株) ソリカラ同等品以上
モルタル・プラスター面の素地ごしらえ						・不燃 ・準不燃	
コンクリートの素地ごしらえ						・不燃 ・準不燃	
せっこうボード面の素地ごしらえ						・不燃 ・準不燃	

○ 断熱材 (19.9.2, 3) フェノールフォームを使用した断熱材のホルムアルデヒド放散量

種類	厚さ(mm)	施工箇所
・ ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材	・	・
○ 押出法ポリスチレンフォーム断熱材 (スキン層なし)	○ 30	○ 1階スラブ下 ○ 1階土間下
・硬質ウレタンフォーム断熱材	・	・
・フェノールフォーム断熱材	・	・

○ その他

○ 断熱材現場発泡工法 断熱材の種類 ・ 吹き付け厚さ (mm) ○ 25 ・ 30 ・ A種1またはA種1H 施工箇所 ○ 図示

○ 現場発泡断熱材

塩ビ見切り: 寸法・規格等 塩化ビニル製 (既製品)、床シート立上り天端仕上げ材、H=75 施工箇所 図示 製品名 (製造所) プチモール ミニモール ビリカモールS 同等品以上

壁小口見切り: 寸法・規格等 アルミコ型ジョイナー (既製品)、シルバー 施工箇所 メラミン化粧板 t3mm用の壁見切り、図示 製品名 (製造所) アルミコ型ジョイナー、アルミ3.5CS - 同等品以上

アルミ出隅見切り: 寸法・規格等 アルミ出隅見切り (既製品) 出隅R10、シルバー 施工箇所 図示 製品名 (製造所) アルミ出隅ジョイナー、アルミタコ出隅6 - 同等品以上

アルミ出隅見切り: 寸法・規格等 アルミ出隅見切り (既製品) 出隅R3、シルバー 施工箇所 図示 製品名 (製造所) アルミ出隅ジョイナー、アルミDT3R-3 - 同等品以上

音響調整板: 寸法・規格等 有孔シナ合板 t9、有孔加工 (最遅遅延時間を確保)、UVクリア塗装品 施工箇所 図示 製品名 (製造所) NSウッディDK - 同等品以上

鉛線甲板: 寸法・規格等 ヒノキ天然木薄甲板目張り、t12、W=106幅品、捨張り工法、UV抗菌コート仕上げ 施工箇所 図示 製品名 (製造所) WPCえんこう、(捨柄) 久積12 - 同等品以上

既製品組: 寸法・規格等 H=145、畳式用 施工箇所 図示 製品名 (製造所) フリーフロア - 同等品以上

音響調整板: 寸法・規格等 有孔シナ合板 t9 有孔加工 (最遅遅延時間を確保) UVクリア塗装品 施工箇所 音楽室 製品名 (製造所) NSウッディDK (日達防火工業 (株)) 同等品以上

材料・工法の選定 (20.1.2) 1. 材料・製品でJIS・JASその他の規格のあるものは、それぞれの規格品または認定品とする。 2. 既製品は見本またはカタログを提出し監理者の承認を受ける。

○ フリーアクセスフロア (20.2.2)

施工箇所	工法	寸法 (mm)	高さ (mm)	耐震性能所定荷重	表面仕上げ	備考
職員室	・重敷式	○500×500	○100	・1.0G	・帯電防止床材	・防湿バット
事務室	・支柱調整式	○500×500	○100	・0.6G	・防湿バット	・5000N

寸法精度 ※標準仕様書20.2.2(2)(オ) (a)~(c)による

パネルの長さ ※各辺の長さが500mmを超える場合 ±0.1%以内 500mm以下の場合 ±0.5mm以内

パネルの平面形状 (角度) ※各辺の長さが500mmを超える場合 ±0.1%以内 500mm以下の場合 ±0.5mm以内

フリーアクセスフロアの高さ ※ ±0.5mm以内 (20.2.3)

○ 可動間仕切

構造形式による種類	構成基材の種類		表面仕上げ		遮音性 (dB/500Hz)	防火性能
	スタッド	パネル	パネル表面仕上げ			
・スタッド式 (内蔵)	・SP系	・SP系	・珪藻土接着又は珪藻土接着	・珪藻土接着	・0	・不燃
・スタッド式 (露出)	・SP系	・SP系	・珪藻土接着又は珪藻土接着	・珪藻土接着	・12	・不燃
・パネル式	・SP系	・SP系	・珪藻土接着又は珪藻土接着	・珪藻土接着	・20	・不燃
・スタッドパネル式	・SP系	・SP系	・珪藻土接着又は珪藻土接着	・珪藻土接着	・28	・不燃
					・36	・不燃

パネル内に取付ける建具・あり (※図示) ・なし ドアクローザー、丁番、錠前、上げ落しとは、標準仕様書16章8節の建具用金物に 対応する材質とする。

表面仕上げを珪藻土とする場合の品質、性能は標準仕様書19章による パネル材料のホルムアルデヒド放散量 ※JIS A 6512によりF☆☆☆☆以上

○ 移動間仕切 (20.2.4)

構造形式	操作方法による種類	パネル仕上		遮音性 (dB/500Hz)
		総厚さ (mm)	材質	
○ 平行方向	移動式	○ 手動式	・フッシュ式	○ 図示
・ 二方向	移動式	○ 電動式	○ ハンドル式	○ 図示
			・部分電動式	○ 図示

パネル表面仕上げの壁紙張りの品質、性能は標準仕様書19章による 遮音性能は、JIS A 6512に準拠し、中心周波数500Hzの音についての透過損失とする ハンガーレールの取付け下地の補強

○ 図示

※取付け全重量の5倍以上の荷重に対して、使用上支障のない耐力及び変形量となるように 補強する。

ランナー

○ 図示

※パネル重量の5倍の荷重を、パネル1枚に使用するランナー数で除した値に対して、 耐力及び変形量及使用上支障のないものとする。

(20.2.5)

表面材の材料	脚部		ドアエッジ	
	形状	材質	形状	材質
○ メラミン樹脂系化粧板	※ 幅木タイプ	・ 標準	・ R	・ アルミニウム製
・ ポリエステル樹脂系化粧板				・ ステンレス製
				○ 表面材と同材

(20.2.6)

材質 ○ ステンレス製 ・ 貴銅製押出型材 ・ アルミニウム製押出型材

滑り止め材 形状 (・ ひも型 ○ タイプ型)

材質 (・ ゴム又は合成樹脂)

取付け工法 ※ 接着工法 ・ 埋め込み工法

幅 (mm) ○ 35 端部フラットエンド (○ あり ・ なし)

(20.2.8)

材質	表面仕上げ	直径 (mm)	取付箇所	備考
○ 集成材	・ クリアラッカー	○ 35	階段A	
	○ ウレタン樹脂ワニス	・ 45	階段B	
				・ ビニル製ハンドル

(20.2.9)

取付箇所 (男子トイレ、女子トイレ)

寸法 (mm) ○ 図示

厚さ (mm) ※ 5

(20.2.10)

○ 衝突防止表示

形状・寸法 (・ 30φ ○ 図示)

材質 (・ ステンレス製 ○ 図示)

案内用図記号はJIS Z 8210による。 標準標識、非常用出入口等の表示

○ 適用する (※消防法に適合する市販品))

色、書体、印刷等の種別、取付け形式等は図示による。 その他の表示 ※ 図示

(20.2.11)

・ 煙突用成形ライニング材

(20.2.12)

形式	操作方法	種類	スラットの材質	スラット幅 (mm)	スラット間隔 (mm)	高さ	取付箇所
・ 横形	・ 手動	※ キヤ式 ・ コード式 ・ 操作棒式	※ アルミニウム合金製	※ 25	※ 鋼製	・ 図示	
・ 縦形	・ 手動	※ 2本操作コード式 ・ 1本操作コード式	・ アルミスラット ・ クロススラット	・ 80	76	・ 鋼製	・ 図示

スラットの材質

・ アルミスラット 焼付け塗装仕上げ

・ クロススラット 消防法で定める防火性能の表示がある特殊樹脂加工

ポリエステル繊維又は植物を原料とする合成繊維を使用した製品を使用する場合はG とする。

(20.2.13)

・ ロールスクリーン

操作方式 ・ スプリング式 ・ コード式 ・ 電動式

幅 ・ 高さ

材質 ・ ガラス繊維製 ・ 合成 ・ 天然繊維製 ・ 木製

品質等

その他の材料

※ ロールスクリーンの製造所の仕様による

(20.2.14)

施工箇所	きれ地名	ひだの種類	形式	開閉装置	製造所、製品同等以上
カーテン	・ 1.5倍ひだ	・ 1.5倍ひだ	○ 片引き	・ 有 ※ 無	(株) 川島織物セルコン ホスピアV E6351~6356 (株) スミノエ (株) サンゲツ ジャマイカS
カーテン	・ 1.5倍ひだ	・ 1.5倍ひだ	○ 片引き	・ 有 ※ 無	(株) 川島織物セルコン 1.5倍ひだ (株) スミノエ (株) サンゲツ カーライル

○ カーテンレール (20.2.14)

材料による区分 ※ アルミニウム又はアルミニウム合金の押し出し成型材 ・ ステンレス製

強さによる区分 ※ 10-90

仕上げ ※ アルマイト

形状 ※ 角形

滑り×深さ (mm) ・ 90×150 ・ 120×80 ・ 120×150 ・ 150×80 ○ 図示

材質 ○ 集成材 (仕上げ: SOP)

・ アルミニウム製 押し出し型材 (市販品)

種別 (標準仕様書表14.2.1) ・ BC-1 ・ BC-2

色合い ・ 標準色 () ・ 特注色 ()

・ 鋼製 (仕上げ:)

材質	寸法	形式	外枠	内枠
○ アルミニウム製	・ 450×450	○ 一般形	・ 屋内外用	○ 縦線タイプ
	・ 600×600	・ 気密形	・ 屋内用	・ 目地タイプ

材質	寸法	形式	備考
・ アルミニウム製	・ 450×450	○ 一般形	・ 屋内外用
○ ステンレス製	○ 600×600	・ 密閉形	○ 屋内用
・ 鋼製			○ 鍵付き

方向	タイプ	耐火性能	防水性能	備考
○ 垂直方向	○ 完全 (全貫通型)	○ 耐火型	○ 有リ	
○ 水平方向		・ 非耐火型	・ 無し	

目地

目地	内壁	外壁
目地材	○ シーリング材 (見え掛かりのみ)	○ シーリング材 (見え掛かりのみ)
	・ シーリング材 (内外とも)	
目地寸法 (mm)	・ 幅20×深さ10	・ 幅20×深さ10
	○ 幅25×深さ15	○ 幅25×深さ15

目地材の材質は標準仕様書表9.7.1による

材質	形式	施工箇所	備考
○ アルミニウム製	・ 差込式	・ 据置式	・ 壁張り式
○ ステンレス製	・ 差込式	・ 据置式	・ 壁張り式

外部は防水型とする

材質	クリアランス (mm)	耐火性能	備考
○ アルミニウム製	・ 50	○ 有リ ()	
○ ステンレス製	○ 150 ・ 720	○ 無し	

○ 流し台ユニット

材質	寸法 (mm)			備考
	W	D	H	
○ 流し台	○ 1200	・ 550	○ 800	市販品
	・ 1500	・ 600	・ 850	トラップ付き
	・ 1800	・ 650	・ 900	天板ステンレス製
・ コンロ台	・ 600	・ 550	・ 620	市販品
		・ 600	・ 670	バックガード有り
		・ 650	・ 700	天板ステンレス製
・ つり戸棚	・ 1200	○ 350	・ 500	市販品
	○ 900	・ 400	○ 800	
	・ 600		・ 700	
・ 水切り	・ 1200	-	-	市販品
	・ 900			ステンレス製
	・ 600			・ 1段式

(品質・性能)

(1) 外観は、JIS A 4420「キッチン設備の構成材」の4.1による。

(2) 構成材は、JIS A 4420の8により試験を行ったとき、表1の規定による。

形状 ※ 図示

材質	形式	高さ (mm)	操作方法	固定方法	備考
○ アルミニウム合金製	○ テーパー式		・ ハンドル式	○ 埋込式	
	・ 同一断面式		○ ロープ式	・ ベース式	
				・ バンド式	

製品名 (製造所) FP-8U (株) サンポール

同等品以上

材質 ・ ステンレス製 (SUS 304)

形式	材質	柱径、肉厚 (mm)	高さ (mm)
○ 上下式無し	○ 標準品	・	・
	・ スプリング式	・	・

フェンスの種類

・ ビニル被覆エキスパンドフェンス

○ 樹脂塗装メッシュフェンス

○ 鋼管フェンス

・ アルミフェンス

○ 図示

高さ

製品名 (製造所) ユニフェンスA型 (朝日スチール工業 (株)) PGフェンス (朝日スチール工業 (株)) 同等品以上

・プレキャスト コンクリート	(20.3.3、4) コンクリートの設計基準強度 ※水セメント比55%以下、単位セメント量の最小値300kg/m ² を満足する割合強度 ・ 図示 配筋 ※配筋を定めた計算書を監督職員に提出する。 ・ 図示 取付け方法 ※図示																								
・ 間知石及びコンクリート 間知ブロック積み	(20.4.2、3) <table border="1"> <tr> <th>材料</th> <th>種類</th> <th>質量区分</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・ 間知石</td> <td>・ 花こう岩 ・ 凝灰岩</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>・ コンクリート 間知ブロック</td> <td>-</td> <td>・ A ・ B</td> <td>-</td> </tr> </table> 積み方 ※谷積み ・ 布積み 目塗り ・ 図示 伸縮調整目地 材質 ・ 図示 ・ 厚さ ・ 図示 ・	材料	種類	質量区分	備考	・ 間知石	・ 花こう岩 ・ 凝灰岩	-	-	・ コンクリート 間知ブロック	-	・ A ・ B	-												
材料	種類	質量区分	備考																						
・ 間知石	・ 花こう岩 ・ 凝灰岩	-	-																						
・ コンクリート 間知ブロック	-	・ A ・ B	-																						
・ 鋼製書架及び物品棚	<table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>規格等</th> <th>JISによる種類</th> </tr> <tr> <td>・ 鋼製書架</td> <td>JIS S 1039 の規格による</td> <td>・ 1種 ・ 2種 ・ 3種</td> </tr> <tr> <td>・ 鋼製物品棚</td> <td>-</td> <td>・ 4種 ・ 5種 ・ 6種</td> </tr> </table>	種類	規格等	JISによる種類	・ 鋼製書架	JIS S 1039 の規格による	・ 1種 ・ 2種 ・ 3種	・ 鋼製物品棚	-	・ 4種 ・ 5種 ・ 6種															
種類	規格等	JISによる種類																							
・ 鋼製書架	JIS S 1039 の規格による	・ 1種 ・ 2種 ・ 3種																							
・ 鋼製物品棚	-	・ 4種 ・ 5種 ・ 6種																							
○ 屋内掲示板	枠の材質 ※ アルミニウム製 表面の材質 ※ 塩ビ発泡シート張り																								
○ 洗面カウンター	材 種 ・ メラミン樹脂化粧張り (心材: 集成材) ○ 人工大理石 奥行 (mm) ・ 約 450 ・ 約 600 ○ 図示																								
・ 防煙垂れ壁	・ 固定式 <table border="1"> <tr> <th>材 質</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>高さ (mm)</th> <th>備 考</th> </tr> <tr> <td>※ 網入り塵板ガラス</td> <td>※ 6.8</td> <td>※ 500</td> <td>アルミ製枠付き</td> </tr> <tr> <td>・ 網入り塵板ガラス</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> </table> ・ 可動式 <table border="1"> <tr> <th>種 類</th> <th>材 質</th> <th>高さ (mm)</th> <th>備 考</th> </tr> <tr> <td>・ 垂直降下式 (巻取り型)</td> <td>※ 不織布 (不燃認定品)</td> <td>※ 500 ・ 800</td> <td>ガイドレール ・ 固定式 (壁埋込型) ・ 可動式 (天井収納型)</td> </tr> <tr> <td>・ 回転降下式</td> <td>鋼板製又はアルミ製</td> <td>※ 500 ・ 800</td> <td>表面仕上げ ※ 天井材張り</td> </tr> </table> 降下機構 煙感知器連動及び手動開放装置 (埋込型)	材 質	厚さ (mm)	高さ (mm)	備 考	※ 網入り塵板ガラス	※ 6.8	※ 500	アルミ製枠付き	・ 網入り塵板ガラス	・	・	・	種 類	材 質	高さ (mm)	備 考	・ 垂直降下式 (巻取り型)	※ 不織布 (不燃認定品)	※ 500 ・ 800	ガイドレール ・ 固定式 (壁埋込型) ・ 可動式 (天井収納型)	・ 回転降下式	鋼板製又はアルミ製	※ 500 ・ 800	表面仕上げ ※ 天井材張り
材 質	厚さ (mm)	高さ (mm)	備 考																						
※ 網入り塵板ガラス	※ 6.8	※ 500	アルミ製枠付き																						
・ 網入り塵板ガラス	・	・	・																						
種 類	材 質	高さ (mm)	備 考																						
・ 垂直降下式 (巻取り型)	※ 不織布 (不燃認定品)	※ 500 ・ 800	ガイドレール ・ 固定式 (壁埋込型) ・ 可動式 (天井収納型)																						
・ 回転降下式	鋼板製又はアルミ製	※ 500 ・ 800	表面仕上げ ※ 天井材張り																						
・ 屋外掲示板	照明器具 ※ 有り ・ 無し 施 錠 ※ 有り ・ 無し 製造所																								
・ 収納家具	材質、形状、寸法 ※ 図示 合板類、MDF 及びパーティクルボードのホルムアルデヒドの放散量 ※規制対象外																								
○ その他	天井点検口: 寸法・規格等 アルミ製 (既製品)、450角、600角、アルミ縦線枠 施工箇所 図示 製品名 (製造所) ハイハッチ - 同等品以上																								
	床下点検口: 寸法・規格等 アルミ製 (既製品)、ステンレス製目地枠、600角、鍵付き 簡易防臭機能付き 施工箇所 図示 製品名 (製造所) ニューハッチ - 同等品以上																								
	天井塩ビ製見切縁: 寸法・規格等 塩ビ製 (既製品) 施工箇所 図示 製品名 (製造所) 天井塩ビ製見切縁 アルミT型 (T-9) - 同等品以上																								
	OAフロアユニット: 寸法・規格等 OAフロアユニット、H=100 施工箇所 職員室、事務室 製造所 サンアクセス300T (三洋工業(株)) 同等品以上																								
	移動間仕切: 寸法・規格等 図示 施工箇所 図示 製品名 (製造所) - - 同等品以上																								

○ その他	トイレブース: 寸法・規格等 図示 施工箇所 図示 製品名 (製造所) - - 同等品以上
	便所補助手すり: 寸法・規格等 図示 施工箇所 図示 製品名 (製造所) - - 同等品以上
	化粧洗面カウンター: 寸法・規格等 図示 施工箇所 図示 製品名 (製造所) 人工大理石カウンター コーリアン マーブライトカウンター パルフェ アイカ工業(株)、(株)エービーシー商會 (株)TOTO 同等品以上
	ユニットシャワー (1218): 寸法・規格等 図示 施工箇所 図示 製品名 (製造所) TOTO (株) (株) LIXIL - 同等品以上
	コーナーガード (柱・壁保護材): 寸法・規格等 コーナーガード (柱・壁保護材)、軟質塩化ビニル、25×25、 アイボリーホワイト 施工箇所 図示 製品名 (製造所) ビュアナガード - 同等品以上
	家具: 寸法・規格等 図示 施工箇所 図示 製品名 (製造所) (株) ヤガミ (株) 内田洋行 (株) オカムラ 同等品以上
	消火器80X (壁埋込型): 寸法・規格等 図示 施工箇所 図示 製品名 (製造所) UFB-1F-211N (株)ユニオン 同等品以上
	消火器80X (床置型): 寸法・規格等 図示 施工箇所 図示 製品名 (製造所) UFB-3F-3026 (株)ユニオン 同等品以上
	サイン: 寸法・規格等 図示 施工箇所 図示 製品名 (製造所) (株)ミワ商會 (有)トラスト (株)コアデザイン事務所 同等品以上
	エキスパンションジョイント金物: 寸法・規格等 図示 施工箇所 図示 製品名 (製造所) エクスパンションジョイントカバー、アーキスパンションSシリーズ (株)エービーシー商會 - 同等品以上
	段鼻ノンスリップ 寸法・規格等 図示 施工箇所 階段 製品名 (製造所) ハシタアトイグ (株)ナカ工業 - 同等品以上
	エレベーター: 寸法・規格等 図示 施工箇所 図示 製造所 (アーバンエース HF (株)日立ビルシステム) (三菱電機ビルテクノサービス (株)) (フジテック (株)) 同等品以上
	カーstoffパー (衝撃吸収材): 寸法・規格等 カーstoffパー (衝撃吸収材)、合成ゴム、かまぼこ型断面、 中空・高視認性タイプ、L=1970 施工箇所 図示 製品名 (製造所) カーstoffパー、NCD-Y type、NCD-1010Y - 同等品以上
	ミニキッチン: 寸法・規格等 図示 施工箇所 図示 製品名 (製造所) ミニキッチン、DMK12LEME2F100 - 同等品以上

○ その他	大型引戸 片引き: 寸法・規格等 アルミ製手動片引き方式、H=1400、レール: ステンレス 施工箇所 図示 製品名 (製造所) ユニットライン BR 3型 (四国化成建材 (株)) - 同等品以上
	大型引分け戸: 寸法・規格等 アルミ製手動式引分け方式、H=1400、レール: ステンレス 施工箇所 図示 製品名 (製造所) アベリードAL型Aタイプ (株) LIXIL - 同等品以上
	誘導用床材・注意喚起用床材: 寸法・規格等 図示 施工箇所 図示 製品名 (製造所) FBS-1 (線状タイプ) (日本興業 (株)) FBT-1 (点状タイプ) (日本興業 (株)) - 同等品以上
	庇 (3): 寸法・規格等 図示 施工箇所 図示 製品名 (製造所) AF73 アルフィン(株) - 同等品以上
	軒天ボード: 寸法・規格等 図示 施工箇所 図示 製品名 (製造所) 軒天12 木目調 (ニチハ (株)) - 同等品以上
	防虫ネット: 寸法・規格等 図示 施工箇所 図示 製品名 (製造所) BSG-200 (城東テクノ (株)) - 同等品以上
	防球ネット: 寸法・規格等 注: コンクリートボール (7-19-4.3) ネット: 再生PET繊維 施工箇所 図示 製品名 (製造所) 注: コンクリートボール (7-19-4.3) (大日コンクリート工業 (株)) ネット: アサヒ数グラウンド防球ネット (アサヒネット工業 (株)) - 同等品以上
	目隠しフィルム: 寸法・規格等 図示 施工箇所 図示 製品名 (製造所) フォグセンターグラデーション ((株) サンゲツ) - 同等品以上

○ 屋外雨水排水	材料 <table border="1"> <tr> <th>材種</th> <th>種類・記号</th> <th>形状</th> <th>呼び径</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・ 透心力鉄筋コンクリート管</td> <td>※ 外圧管 (1種)</td> <td>・ B形管</td> <td>※ 図示</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ 硬質ポリ塩化ビニル管</td> <td>・ RF-VP G ・ RS-VU G ・ VP ○ VU</td> <td></td> <td></td> <td>※ 図示 ※ 図示 ※ 図示 ※ 図示</td> </tr> </table> 基礎の厚さ及び種類 ○ 図示 硬質ポリ塩化ビニル管の継手に用いる材料 ※ 接着剤 側溝の形状及び寸法 ○ 図示 排水口の種類 ○ 図示 砂地業に用いる材料 ・ シルト ・ 山砂 ・ 川砂 ・ 砕砂 ○ 図示 砂利地業に用いる材料 ○ 再生クラッシュラン G ○ 切込砂利又は切込砕石 ○ 図示 ○ 現場打ちの場合のコンクリート材料 設計基準強度 ※ 18N/mm ² ○ 現場打ちの場合の鉄筋 種類の記号 ※ SD295A ・ 現場打ちの場合の足金物 ※ 標準仕様書 21.2.2 (6) (4) 材質 ・ ステンレス製 ・ 鋼製 ・ 合成樹脂被覆加工されたもの 凍上抑制層に用いる材料 ・ 砂の粒度試験 ・ 行う ○ 行わない	材種	種類・記号	形状	呼び径	備考	・ 透心力鉄筋コンクリート管	※ 外圧管 (1種)	・ B形管	※ 図示		○ 硬質ポリ塩化ビニル管	・ RF-VP G ・ RS-VU G ・ VP ○ VU			※ 図示 ※ 図示 ※ 図示 ※ 図示						
材種	種類・記号	形状	呼び径	備考																		
・ 透心力鉄筋コンクリート管	※ 外圧管 (1種)	・ B形管	※ 図示																			
○ 硬質ポリ塩化ビニル管	・ RF-VP G ・ RS-VU G ・ VP ○ VU			※ 図示 ※ 図示 ※ 図示 ※ 図示																		
○ 鋼鉄製ふた	<table border="1"> <tr> <th>名称</th> <th>種類</th> <th>適用荷重</th> <th>鍵</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>鋼鉄製マンホールふた</td> <td>・ 水封形 ・ 簡易密閉形 (パッキン式) ○ 密閉形 (テーパーパッキン式) ・ 中ふた付き密閉形 (テーパーパッキン式)</td> <td>・ T-2用 ・ T-6用 ○ T-20用</td> <td>○ 有り ・ 無し</td> <td>左記以外の品質等は (公社) 空気調和衛生工学会 SHASE-S209による</td> </tr> </table>	名称	種類	適用荷重	鍵	備考	鋼鉄製マンホールふた	・ 水封形 ・ 簡易密閉形 (パッキン式) ○ 密閉形 (テーパーパッキン式) ・ 中ふた付き密閉形 (テーパーパッキン式)	・ T-2用 ・ T-6用 ○ T-20用	○ 有り ・ 無し	左記以外の品質等は (公社) 空気調和衛生工学会 SHASE-S209による											
名称	種類	適用荷重	鍵	備考																		
鋼鉄製マンホールふた	・ 水封形 ・ 簡易密閉形 (パッキン式) ○ 密閉形 (テーパーパッキン式) ・ 中ふた付き密閉形 (テーパーパッキン式)	・ T-2用 ・ T-6用 ○ T-20用	○ 有り ・ 無し	左記以外の品質等は (公社) 空気調和衛生工学会 SHASE-S209による																		
○ グレーチング	<table border="1"> <tr> <th>材質</th> <th>形式</th> <th>用途</th> <th>適用荷重</th> <th>寸法</th> <th>重 量 (付着量)</th> <th>上面形状</th> </tr> <tr> <td>○ 鋼製</td> <td>○ 受付け、ボルト固定</td> <td>○ 溝ふた (横断用) ○ 溝ふた (側溝用) ○ 側溝用 ・ U字溝用</td> <td>・ 歩行用 ・ 網目</td> <td>・ 網目 ○ 網目</td> <td>・ () ・ ()</td> <td>・ 凹凸形 ・ 凹凸形</td> </tr> <tr> <td>・ ステンレス製</td> <td>・ 受付け、ボルト固定</td> <td>・ 溝ふた (横断用) ・ 溝ふた (側溝用) ・ 側溝用 ・ U字溝用</td> <td>・ 歩行用</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>・ 凹凸形 ・ 凹凸形</td> </tr> </table>	材質	形式	用途	適用荷重	寸法	重 量 (付着量)	上面形状	○ 鋼製	○ 受付け、ボルト固定	○ 溝ふた (横断用) ○ 溝ふた (側溝用) ○ 側溝用 ・ U字溝用	・ 歩行用 ・ 網目	・ 網目 ○ 網目	・ () ・ ()	・ 凹凸形 ・ 凹凸形	・ ステンレス製	・ 受付け、ボルト固定	・ 溝ふた (横断用) ・ 溝ふた (側溝用) ・ 側溝用 ・ U字溝用	・ 歩行用	-	-	・ 凹凸形 ・ 凹凸形
材質	形式	用途	適用荷重	寸法	重 量 (付着量)	上面形状																
○ 鋼製	○ 受付け、ボルト固定	○ 溝ふた (横断用) ○ 溝ふた (側溝用) ○ 側溝用 ・ U字溝用	・ 歩行用 ・ 網目	・ 網目 ○ 網目	・ () ・ ()	・ 凹凸形 ・ 凹凸形																
・ ステンレス製	・ 受付け、ボルト固定	・ 溝ふた (横断用) ・ 溝ふた (側溝用) ・ 側溝用 ・ U字溝用	・ 歩行用	-	-	・ 凹凸形 ・ 凹凸形																
○ 街きよ、緑石及び側溝	街きよ、緑石、側溝 <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>形状、寸法</th> </tr> <tr> <td>○ 緑石</td> <td>○ 図示</td> </tr> <tr> <td>・ L形側溝</td> <td>・ 図示</td> </tr> <tr> <td>・ U形側溝</td> <td>・ 図示</td> </tr> <tr> <td>・ U形側溝ふた</td> <td>・ 図示</td> </tr> <tr> <td>○ FPU側溝 (横断用) (縦断用)</td> <td>○ 図示</td> </tr> </table> 地業の材料 ・ シルト ・ 山砂 ・ 川砂 ・ 砕砂 砂利地業に用いる材料 ○ 再生クラッシュラン ○ 切込砂利 ・ 切込砕石 砂利地業の厚さ ※ 100 (mm) ○ 図示 ・ 現場打ちの場合のコンクリート材料 設計基準強度 ※ 18N/mm ² 凍上抑制層に用いる材料 ・ 砂の粒度試験 ・ 行う ○ 行わない	種類	形状、寸法	○ 緑石	○ 図示	・ L形側溝	・ 図示	・ U形側溝	・ 図示	・ U形側溝ふた	・ 図示	○ FPU側溝 (横断用) (縦断用)	○ 図示									
種類	形状、寸法																					
○ 緑石	○ 図示																					
・ L形側溝	・ 図示																					
・ U形側溝	・ 図示																					
・ U形側溝ふた	・ 図示																					
○ FPU側溝 (横断用) (縦断用)	○ 図示																					
○ 煙灰し土	◎ B種 ○ 図示																					
○ 暗渠排水管	寸法・規格等 ポリプロピレン排水管 網状管、前面透水・波付き 施工箇所 図示 製品名 (製造所) トータクドレンN (ナガセルタック (株))																					

○ 路床 (22.2.2、3、5) (表22.2.1)

路床の材料

種別	材料	厚さ(mm)
○ 盛土	・ A種 ○ B種 ・ C種 ・ D種 ・ 建設汚泥から再生した処理土G	・ 図示
・ 凍上抑制層	・ 再生クラッシュランG ○ クラッシュラン ・ 切込み砂利 ・ 砂	・ 図示
・ フィルター層	・ 砂	・ 図示

・ 路床安定処理
安定処理の方法 ・ 置き換え工法 ・ 安定処理工法
材料の配合量については現地試料土による室内配合試験による。
路床安定化処理用添加材料
種類 ・ 普通ポルトランドセメント ・ 高炉セメントB種G
・ フライアッシュセメントB種
・ 生石灰 () ・ 消石灰 ()
添加量 ・ kg/m³ (目標DR) ・ 3以上 ()

(注) 添加材料の種類をセメント系材料とする場合は、(1.3.7)【施工中の安全確保】及び(1.3.10) 施工中の環境保全等により、「セメント及びセメント系固着材を利用した改良土の六面クロム溶出試験実施要領(案)」に基づき、試験を行う。

・ ジオテキスタイル
単位面積質量 ・ 60g/m²以上 ・
厚さ(mm) ・ 0.5~1.0 ・
引張強さ ・ 98N/5cm (10kgf/5cm) 以上 ・
透水係数 ・ 1.5×10⁻⁶ cm/sec以上

試験
砂の粒度試験 ・ 行う ○ 行わない
路床土の支持力比(CBR)試験 ・ 行う ○ 行わない
路床締固め度の試験 ・ 行う ○ 行わない
現場DR試験 ・ 行う ○ 行わない

○ 路盤 (22.2.2、3、5) (表 22.3.1)

路盤の厚さ ・ 図示 ・
路盤材料

種別	種類
砕石	・ クラッシュラン ・ 粒度調整砕石
再生材	○ クラッシュラン G ○ 粒度調整砕石 G
・ クラッシュラン鉄鋼スラグG	
・ 粒度調整鉄鋼スラグG	
・ 水硬性粒度調整鉄鋼スラグG	

○ アスファルト舗装 (22.4.2~6) (表 22.4.4)

アスファルト舗装の構成及び厚さ ※ 図示 ・
材料及び種類
アスファルト ・ 再生アスファルトH () (・60~80 ・80~100)
○ ストレートアスファルト
骨材 ○ 道路用砕石
・ アスファルトコンクリート再生骨材G

加熱アスファルト混合物等の種類
○ 密粒度アスファルト混合物(13)
・ 細粒度アスファルト混合物(13)
・ 密粒度アスファルト混合物(13F)

シールコートの乳剤の種類
○ PK-1 ・ PK-2

試験
アスファルト混合物等の抽出試験 ○ 行う(車道1か所、供試体3) ・ 行わない
舗装の平坦性 ※ 通行の支障となる水たまりを生じない程度

○ コンクリート舗装 (22.5.2~4、6) (表22.5.1、3)

コンクリート舗装の構成及び厚さ

舗装の種類	部位	構成	厚さ(mm)
コンクリート舗装	車道及び駐車場	・ 図示	・ 図示
	歩行者用通路	・ 図示	※70 ・ 図示

寒冷地の縁部立下り寸法等 ・ 図示
材料
・ コンクリートの種類 ・
設計基準強度 ・
所定のスラブ ※8 ・ 図示
粗骨材の最大寸法 ・
※普通コンクリート、標準仕様書表22.5.1による
早強ポルトランドセメント ・ 使用する ・ 使用しない
注入目地材料 ※低弾性タイプ ・ 高弾性タイプ

目地
種類 ・ カッター目地
間隔 ・ 2.5m程度ごと
構造 ・ 図示
※標準仕様書表22.5.3及び図22.5.1による

試験
コンクリート版厚の測定 ・ 行う ・ 行わない
舗装の平坦性 ・
※通行の支障となる水たまりを生じない程度

○ カラー舗装 (22.6.4~6)

○ 加熱系カラー舗装
構成・厚さ ○ 図示
加熱系混合物の結合材
・ アスファルト混合物
・ 石油樹脂系混合物 顔料の添加量 () %
着色骨材 ()
自然石 ()

・ 常温系カラー舗装
工法 ・ ノート工法 ・ 塗布工法
着色部の下部 ・ アスファルト舗装 ・ コンクリート舗装

適用範囲：歩道
構成 ・ 図示 ・
材料
骨材 ・ 道路用砕石
・ アスファルトコンクリート再生骨材G (表22.4.1)
(種類 ・60~80 ・80~100)

試験
開粒度アスファルト混合物等の抽出試験 ・ 行う ・ 行わない
砂の粒度試験 ・ 行う ・ 行わない
舗装の平坦性 ・ ※ 著しい不陸がないもの

○ コンクリート平板舗装G (搬石) (22.8.2、3)

種類	寸法(mm)	厚さ(mm)	目地材	備考
○ 普通平板(N)	・ 300角	※60	※砂	表面加工
○ 透水平板(P)	○ 図示	・	・ 砂	・ 研ぎ出し
・ 保水性平板(M)				○ 洗い出し ・ たたき出し

クッション材 ※砂 ・ 空練りモルタル
普通平板はG (再生材1料を用いた舗装用ブロック)、透水平板はG (透水性コンクリート)とする。
仕上り面の平坦性 ・
※歩行に支障となる段差がないものとし、舗石間の段差は3mm以内とする。

○ インターロッキングブロック舗装G

種類	部位	形状寸法	厚さ(mm)	曲げ強度(N/mm ²)	備考
※ 普通ブロック(N)	車道	○ 図示	※80	※5.0	表面加工
・ 透水性ブロック(P)		・	・	・	・
・ 保水性ブロック(M)		・	・	・	・
※ 普通ブロック(N)	歩行者用	○ 図示	※60	※3.0	
・ 透水性ブロック(P)	通路	・	・	・	
・ 保水性ブロック(M)		・	・	・	

クッション材 ※砂 ・ 空練りモルタル
歩行者用通路に使用する普通ブロックはG (再生材を用いた舗装用ブロック)、
透水性ブロックはG (透水性コンクリート)とする。
仕上り面の平坦性 ・
※歩行に支障となる段差がないものとし、インターロッキングブロック間の段差は3mm以内とする。

・ 舗石舗装

種類	形状寸法(mm)	厚さ(mm)	施工方法	基層	基層の厚さ(mm)
・ 花崗岩	・ 割石	・	・ うろこ張り	・ コンクリート平板	※70
・	・ 図示	・	・	・ アスファルト混合物	※50

クッション材 ※砂 ・ 空練りモルタル
歩行者用通路に使用する普通ブロックは (再生材を用いた舗装用ブロック)、
透水性ブロックは (透水性コンクリート)とする。
仕上り面の平坦性 ・
※歩行に支障となる段差がないものとし、舗石間の段差は3mm以内とする。

・ ジオテキスタイル
単位面積質量 ・ 60g/m²以上 ・
厚さ(mm) ・ 0.5~1.0 ・
引張強さ ・ 98N/5cm (10kgf/5cm) 以上 ・
透水係数 ・ 1.5×10⁻⁶ cm/sec以上

○ 砂利敷き (22.9.2)

種別
○ A種 (施工範囲：○ 図示 ・ 通路 ())
・ B種 (施工範囲：・ 図示 ・ 建物周囲その他 ())

路面標示用塗料はJIS K 5665による

種類	施工	適用	色	幅(mm)	塗布厚さ(mm)
※3種1号	融解	粉体状	○ 白	○ 150	・ 1.0
・ 1種 G	常温	液状	・	・ 100	○ 1.5
・ 2種 G	加熱				

G 低弾性有機溶剤型の路面標示用水性塗料

・ 植栽基礎

一般
有効土層として整備する面積/厚さ： ・ 図示 ※標準仕様書表23.2.1による
基礎透排水施設： ・ 設置する ○ 設置しない
排水施設： ・ 図示 ・ 暗渠 ・ 開渠 ・ 排水層 ・ 縦穴排水 ・
植栽基礎整備工法(樹木)： ※A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種
植栽基礎整備工法(芝・地被類)： ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種
土壌改良の適用： ○ 適用する ・ 適用しない

材料
植込み用土： ・ 現場発生の良質土 ○ 寄土
土壌改良材： ・ P-堆肥 ・ 発酵下水汚泥2047A ○ 図示
パーク堆肥の場合の緩効性肥料の適用： ・ 適用しない ○ 適用する；
緩効性肥料：N-P-K=12-6-6-2 ジャイカムアグリ(株)
(ウッドエース4号 (1個≒15g))同等品以上

材料
樹木の樹種/寸法/株立ち数等： ○ 図示 ・

新植樹木の枯損
補償期間： ○ 引渡しの日から1年 ・

移植樹木の枯損
補償期間： ○ 引渡しの日から1年 ・ なし